

障害者福祉に関するアンケート調査 報告書

令和5年3月

安 城 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	障害者調査	2
(1)	回答者属性	2
(2)	日中の活動について	13
(3)	障害福祉サービスなどについて	30
(4)	障害者福祉タクシー助成について	42
(5)	選挙の投票について	46
(6)	自由意見	51
2	障害児調査	52
(1)	回答者属性	52
(2)	お子様の日中の活動について	60
(3)	障害福祉サービスなどについて	64
(4)	自由意見	74
III	調査結果のまとめ	75
1	障害者調査	75
(1)	日中の活動	75
(2)	福祉サービス	75
(3)	障害を理由とする差別の解消	76
2	障害児調査	76
(1)	日中の活動	76
(2)	福祉サービス	76
(3)	障害を理由とする差別の解消	77

I 調査の概要

1 調査の目的

市民の福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進のための資料とすることを目的として実施しました。

2 調査対象

	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	障害児
調査対象の区分	18歳以上の身体障害者手帳所持者	18歳以上の療育手帳所持者	18歳以上の精神障害者保健福祉手帳又は自立支援医療受給者証（精神通院）所持者	18歳以上の特定医療費（指定難病）受給者証所持者	18歳未満の障害者手帳所持児童又は児童発達支援等のサービスを利用している児童
配布数	600通	500通	575通	75通	250通
	1,750通				

※65歳以上の方は障害福祉サービス受給者のみを対象としています。

3 調査期間

令和4年12月20日～令和5年1月12日

4 調査方法

郵送配付・郵送回収方式

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
障害者調査	1,750通	1,019通	58.2%
障害児調査	250通	160通	64.0%

6 調査結果の表示方法

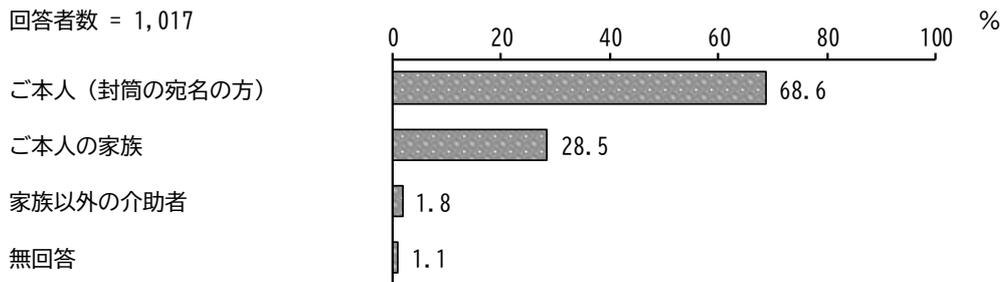
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示しています。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

Ⅱ 調査結果

1 障害者調査

(1) 回答者属性

問1 ご記入いただくのは、どなたですか。(○は一つ)



【障害の種類別】

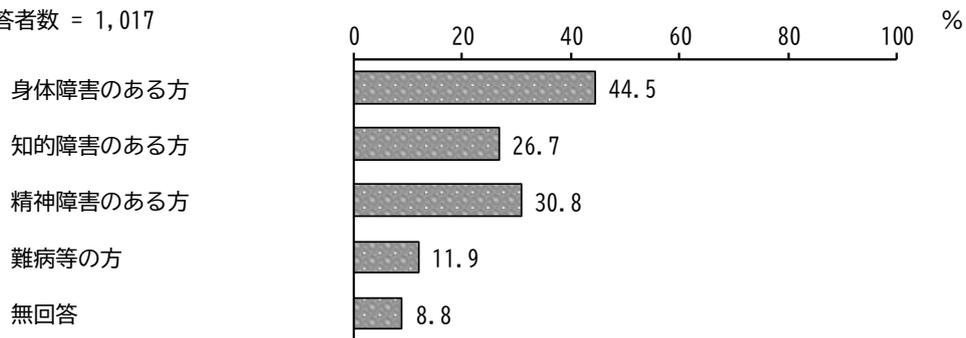
障害の種類別にみると、知的障害のある人のみ「ご本人の家族」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ご本人 (封筒の宛名の方)	ご本人の家族	家族以外の介助者	無回答
全 体	1,017	68.6	28.5	1.8	1.1
身体障害のある人	453	71.5	26.7	1.1	0.7
知的障害のある人	272	29.0	66.2	3.3	1.5
精神障害のある人	313	73.8	23.0	1.6	1.6
難病患者	121	80.2	19.0	—	0.8

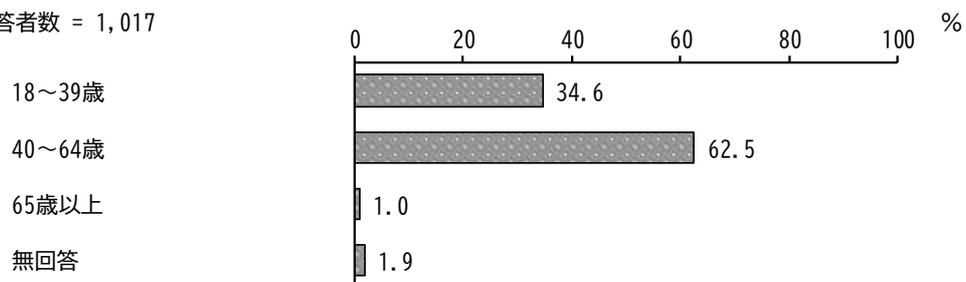
障害種別

回答者数 = 1,017



問2 年齢をお答えください。

回答者数 = 1,017



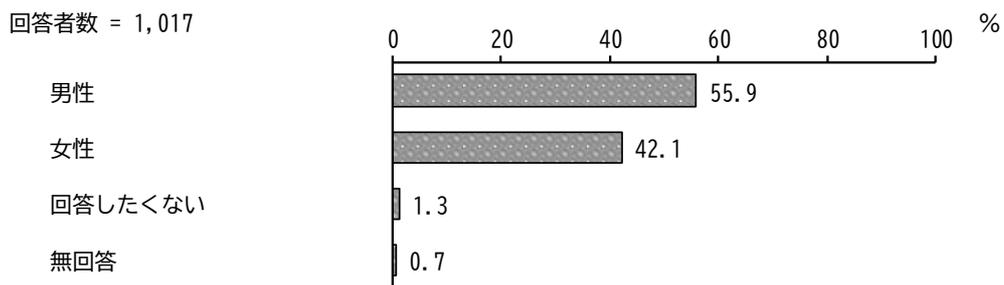
【障害の種類別】

障害の種類別にみると、知的障害のある人のみ弱年層の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	18 ～ 39 歳	40 ～ 64 歳	65 歳 以上	無 回 答
全 体	1,017	34.6	62.5	1.0	1.9
身体障害のある人	453	22.5	74.4	1.3	1.8
知的障害のある人	272	66.9	31.6	0.4	1.1
精神障害のある人	313	36.7	59.7	0.6	2.9
難病患者	121	25.6	71.1	1.7	1.7

問3 性別をお答えください。



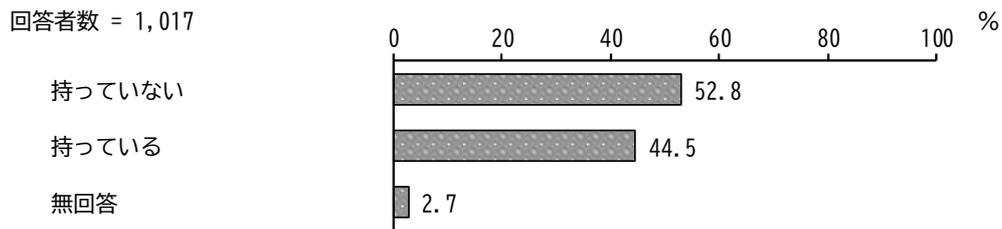
【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、精神障害のある人で「女性」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	男性	女性	回答したくない	無回答
全 体	1,017	55.9	42.1	1.3	0.7
身体障害のある人	453	59.2	39.3	1.3	0.2
知的障害のある人	272	59.6	39.3	0.7	0.4
精神障害のある人	313	48.6	47.3	2.6	1.6
難病患者	121	57.9	40.5	0.8	0.8

問4 身体障害者手帳をお持ちですか。(○は一つ)



【障害の種類別】

障害の種類別にみると、難病患者の半数近くが持っています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	持っていない	持っている	無回答
全 体	1,017	52.8	44.5	2.7
身体障害のある人	453	—	100.0	—
知的障害のある人	272	67.3	27.9	4.8
精神障害のある人	313	79.9	16.3	3.8
難病患者	121	51.2	47.9	0.8

【年齢別】

年齢別にみると、年齢の高い層から「持っている」の割合が高くなっています。

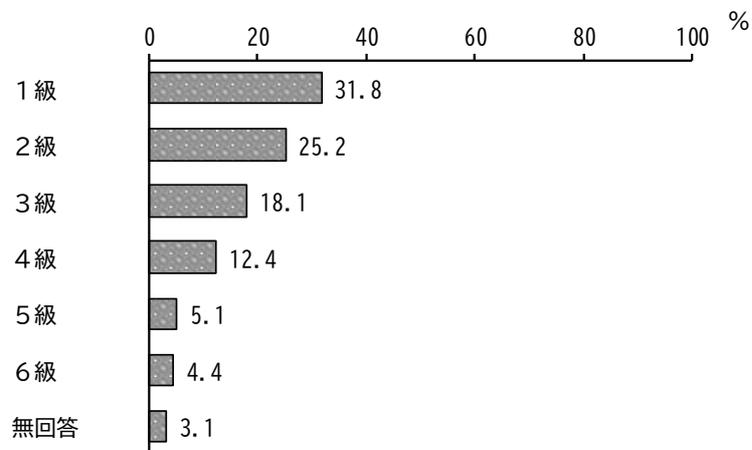
単位：%

区分	回答者数 (件)	持っていない	持っている	無回答
全 体	1,017	52.8	44.5	2.7
18～39 歳	352	68.2	29.0	2.8
40～64 歳	636	45.3	53.0	1.7
65 歳以上	10	40.0	60.0	—

問4-1 お持ちの等級を教えてください。(○は一つ)

等級の重い順に取得者が多くなっています。

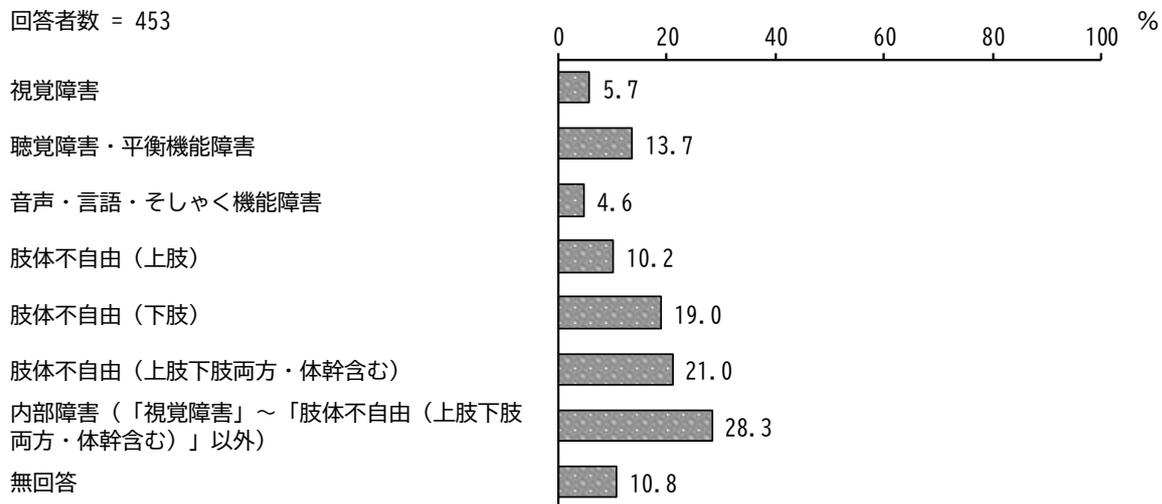
回答者数 = 453



問4-2 手帳に記載のある障害を教えてください。(○はいくつでも)

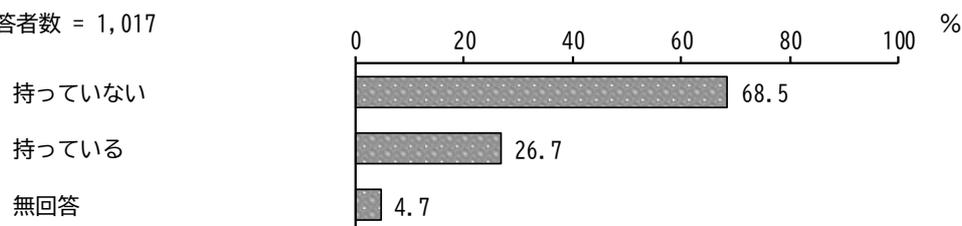
「内部障害(「視覚障害」～「肢体不自由(上肢下肢両方・体幹含む)」以外)」の割合が28.3%と最も高く、次いで「肢体不自由(上肢下肢両方・体幹含む)」の割合が21.0%、「肢体不自由(下肢)」の割合が19.0%となっています。

回答者数 = 453



問5 療育手帳をお持ちですか。(○は一つ)

回答者数 = 1,017



【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、身体障害のある人で「持っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っていない	持っている	無回答
全 体	1,017	68.5	26.7	4.7
身体障害のある人	453	80.6	16.8	2.6
知的障害のある人	272	－	100.0	－
精神障害のある人	313	80.5	8.9	10.5
難病患者	121	85.1	11.6	3.3

【年齢別】

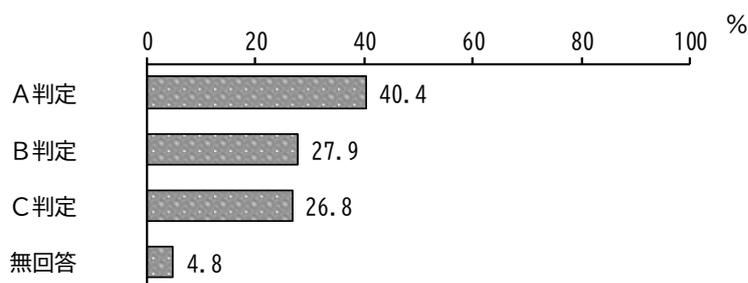
年齢別にみると、弱年層の方が「持っている」の割合が高くなっています。

単位：％

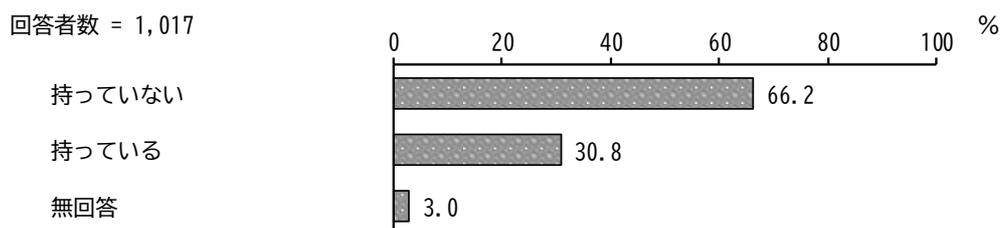
区分	回答者数 (件)	持っていない	持っている	無回答
全 体	1,017	68.5	26.7	4.7
18～39 歳	352	46.0	51.7	2.3
40～64 歳	636	81.1	13.5	5.3
65 歳以上	10	90.0	10.0	－

問5－1 お持ちの等級を教えてください。(○は一つ)

回答者数 = 272



問6 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は一つ)



【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、難病患者が「持っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	持っていない	持っている	無回答
全体	1,017	66.2	30.8	3.0
身体障害のある人	453	85.7	11.3	3.1
知的障害のある人	272	85.7	10.3	4.0
精神障害のある人	313	—	100.0	—
難病患者	121	71.1	26.4	2.5

【年齢別】

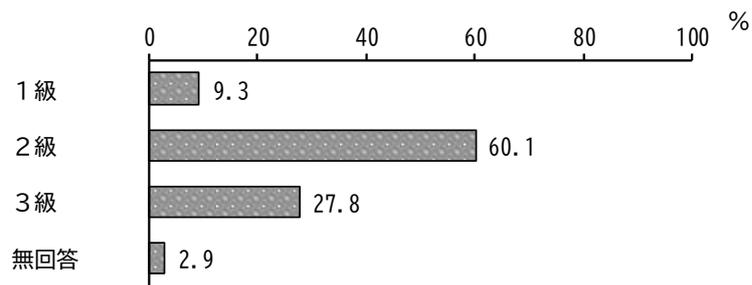
年齢別にみると、弱年層の方から「持っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	持っていない	持っている	無回答
全体	1,017	66.2	30.8	3.0
18～39歳	352	65.1	32.7	2.3
40～64歳	636	67.5	29.4	3.1
65歳以上	10	80.0	20.0	—

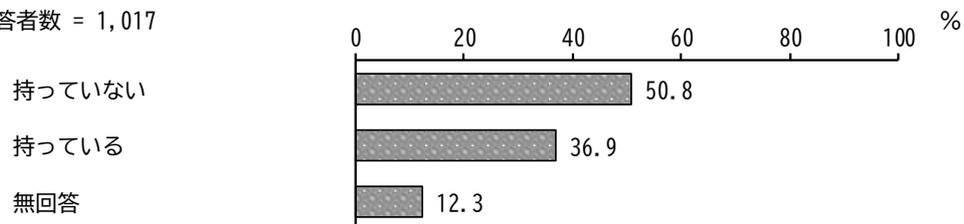
問6-1 お持ちの等級を教えてください。(〇は一つ)

回答者数 = 313



問7 自立支援医療受給者証（精神通院）をお持ちですか。(〇は一つ)

回答者数 = 1,017

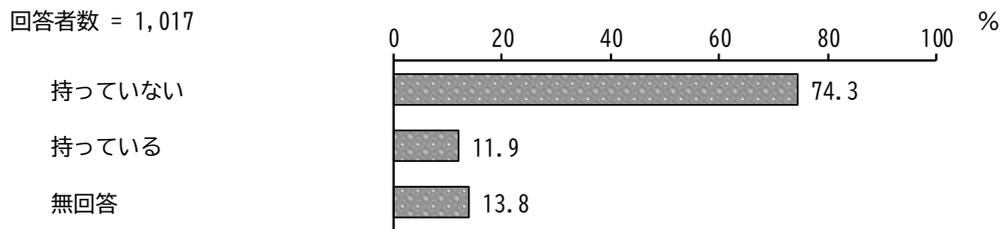


【年齢別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	持っていない	持っている	無回答
全 体	1,017	50.8	36.9	12.3
18～39 歳	352	53.4	34.9	11.6
40～64 歳	636	49.8	38.1	12.1
65 歳以上	10	60.0	20.0	20.0

問8 特定医療費（指定難病）受給者証をお持ちですか。（〇は一つ）



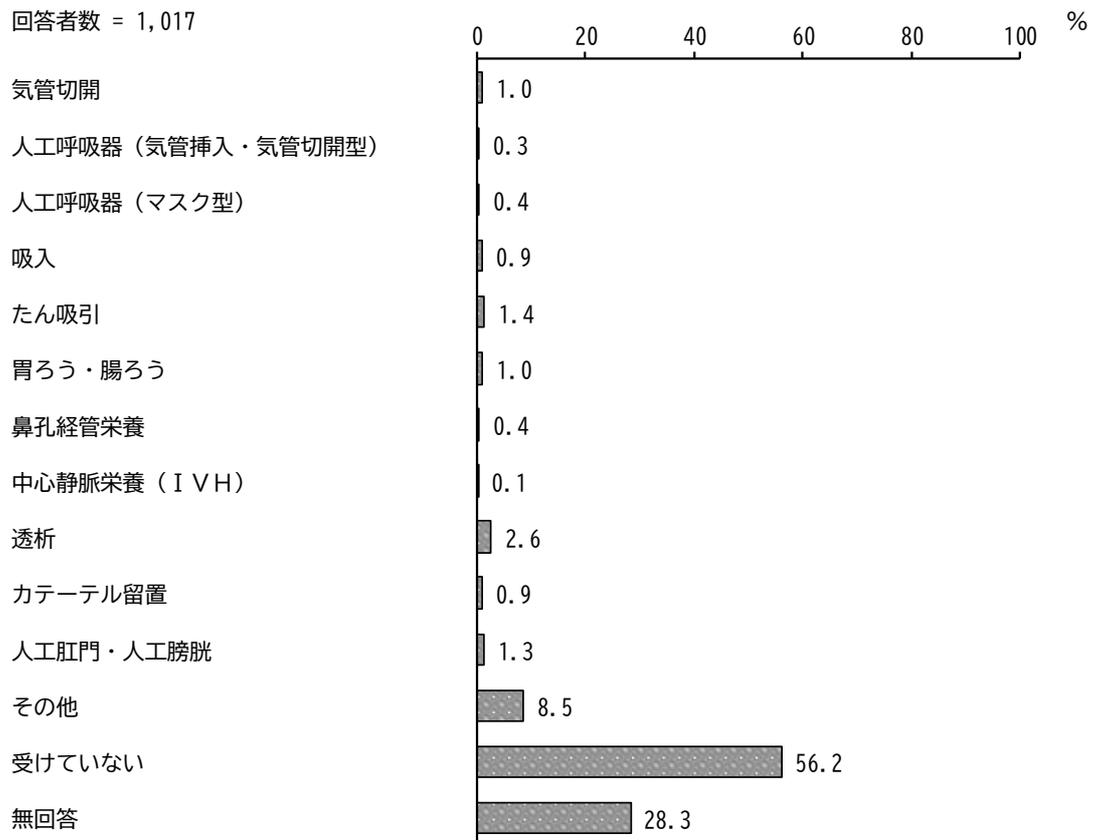
【年齢別】

年齢別にみると、高年層の方から順に「持っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	持っていない	持っている	無回答
全 体	1,017	74.3	11.9	13.8
18～39 歳	352	78.4	8.8	12.8
40～64 歳	636	73.0	13.5	13.5
65 歳以上	10	50.0	20.0	30.0

問9 現在受けている医療的ケアをお答えください。(〇はいくつでも)

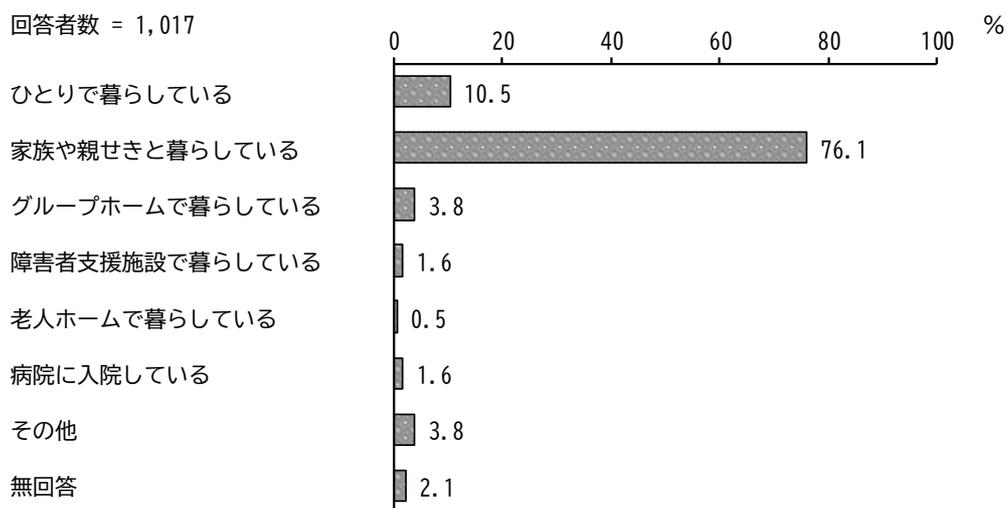


◇主なその他意見

- ・心療内科
- ・ペースメーカー
- ・訪問医療
- ・人工関節
- ・リハビリ
- ・摘便 など

(2) 日中の活動について

問10 現在どのように暮らしていますか。



◇主なその他意見

・友人の所 ・通所施設と自宅 ・社員寮 など

【障害の種類別】

知的障害のある人について、ひとり暮らしが少なく、グループホームや障害者支援施設で暮らしている方が比較的多くなっています。

また、精神障害のある人が病院に入院している割合が他の障害種別に比べ最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ひとりで暮らしている	家族や親せきと暮らしている	グループホームで暮らしている	障害者支援施設で暮らしている	老人ホームで暮らしている	病院に入院している	その他	無回答
全体	1,017	10.5	76.1	3.8	1.6	0.5	1.6	3.8	2.1
身体障害のある人	453	13.2	74.2	2.2	1.1	0.9	2.4	4.2	1.8
知的障害のある人	272	2.2	72.8	10.3	4.0	—	0.7	6.6	3.3
精神障害のある人	313	10.9	75.4	2.2	1.9	0.6	3.2	5.1	0.6
難病患者	121	11.6	78.5	3.3	1.7	0.8	0.8	1.7	1.7

【サービスの利用状況別】

※問 15 の結果に基づき、サービス需給の有無でクロス集計を行いました。問 11、12、14、16、17 についても同様にクロス集計しています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ひとり暮らししている	家族や親せきと暮らしている	グループホームで暮らしている	障害者支援施設で暮らしている	老人ホームで暮らしている	病院に入院している	その他	無回答
全 体	1,017	10.5	76.1	3.8	1.6	0.5	1.6	3.8	2.1
サービスを受けている	361	10.2	65.4	9.7	3.9	1.1	0.8	5.5	3.3
サービスを受けていない	560	9.5	82.9	0.7	0.4	0.2	2.1	2.9	1.4

問 11 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。当てはまる欄に○をつけてください。(○は①から⑥までのそれぞれに一つ)

『④外出』『⑤お金の管理』で介助が必要の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
①食事	1,017	80.8	12.8	3.9	2.5
②トイレ	1,017	84.2	7.8	5.8	2.3
③入浴	1,017	77.9	11.6	8.2	2.4
④外出	1,017	61.8	21.0	14.5	2.7
⑤お金の管理	1,017	59.5	19.2	18.6	2.8
⑥家族以外の人との会話	1,017	69.3	19.4	7.8	3.5

①食事

【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害のある人が介助が必要な割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ふじこぼしケア	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全 体	1,017	80.8	12.8	3.9	2.5
身体障害のある人	453	76.4	13.5	7.7	2.4
知的障害のある人	272	68.0	21.0	8.8	2.2
精神障害のある人	313	78.6	15.7	2.2	3.5
難病患者	121	81.8	10.7	5.8	1.7

【サービスの利用状況別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	ふじこぼしケア	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全 体	1,017	80.8	12.8	3.9	2.5
サービスを受けている	361	71.2	19.7	7.8	1.4
サービスを受けていない	560	86.6	8.9	2.0	2.5

②トイレ

【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害のある人、身体障害のある人の順に介助が必要な割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ふじこトイレ	一部 介助が 必要	全部 介助が 必要	無 回答
全 体	1,017	84.2	7.8	5.8	2.3
身体障害のある人	453	76.4	9.7	11.3	2.6
知的障害のある人	272	67.3	18.0	12.1	2.6
精神障害のある人	313	90.1	4.2	3.2	2.6
難病患者	121	81.0	10.7	6.6	1.7

【サービスの利用状況別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	ふじこトイレ	一部 介助が 必要	全部 介助が 必要	無 回答
全 体	1,017	84.2	7.8	5.8	2.3
サービスを受けている	361	70.1	16.3	11.9	1.7
サービスを受けていない	560	92.0	3.2	2.5	2.3

③入浴

【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害、身体障害のある人の順に介助が必要な割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ふじこけいね	一部 介助が 必要	全部 介助が 必要	無 回 答
全 体	1,017	77.9	11.6	8.2	2.4
身体障害のある人	453	71.1	11.5	15.0	2.4
知的障害のある人	272	58.8	21.7	16.5	2.9
精神障害のある人	313	81.5	12.1	3.5	2.9
難病患者	121	79.3	10.7	8.3	1.7

【サービスの利用状況別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	ふじこけいね	一部 介助が 必要	全部 介助が 必要	無 回 答
全 体	1,017	77.9	11.6	8.2	2.4
サービスを受けている	361	60.7	21.3	16.3	1.7
サービスを受けていない	560	87.5	6.6	3.4	2.5

④外出

【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害のある人が介助が必要な割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	らくらく パソコン	一部 介助が 必要	全部 介助が 必要	無 回答
全 体	1,017	61.8	21.0	14.5	2.7
身体障害のある人	453	60.5	17.7	19.2	2.6
知的障害のある人	272	36.4	29.0	31.6	2.9
精神障害のある人	313	57.8	29.1	9.6	3.5
難病患者	121	67.8	17.4	12.4	2.5

【サービスの利用状況別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	らくらく パソコン	一部 介助が 必要	全部 介助が 必要	無 回答
全 体	1,017	61.8	21.0	14.5	2.7
サービスを受けている	361	41.8	28.8	27.4	1.9
サービスを受けていない	560	72.5	17.3	7.5	2.7

⑤お金の管理

【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害のある人で介助が必要な割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	らくごプログラム	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全 体	1,017	59.5	19.2	18.6	2.8
身体障害のある人	453	67.3	9.5	20.3	2.9
知的障害のある人	272	19.5	30.9	46.3	3.3
精神障害のある人	313	52.1	30.0	14.4	3.5
難病患者	121	71.9	12.4	14.0	1.7

【サービスの利用状況別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	らくごプログラム	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全 体	1,017	59.5	19.2	18.6	2.8
サービスを受けている	361	38.8	23.8	35.2	2.2
サービスを受けていない	560	70.9	17.1	9.5	2.5

⑥家族以外の人との会話

【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害のある人で介助が必要な割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	コミュニケーション	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全 体	1,017	69.3	19.4	7.8	3.5
身体障害のある人	453	73.7	15.0	7.5	3.8
知的障害のある人	272	38.6	36.0	19.9	5.5
精神障害のある人	313	64.9	24.3	6.1	4.8
難病患者	121	75.2	14.0	8.3	2.5

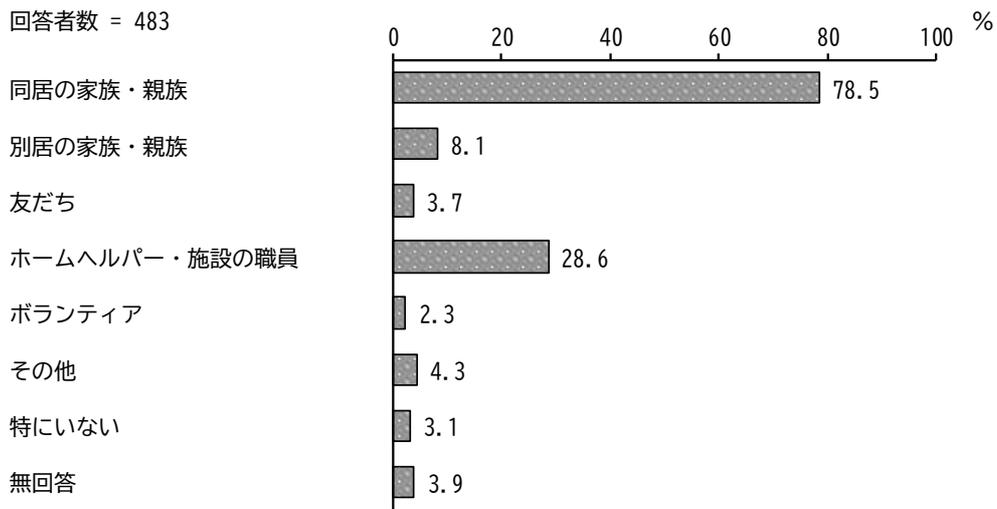
【サービスの利用状況別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	コミュニケーション	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全 体	1,017	69.3	19.4	7.8	3.5
サービスを受けている	361	51.8	31.9	13.6	2.8
サービスを受けていない	560	79.3	12.9	5.0	2.9

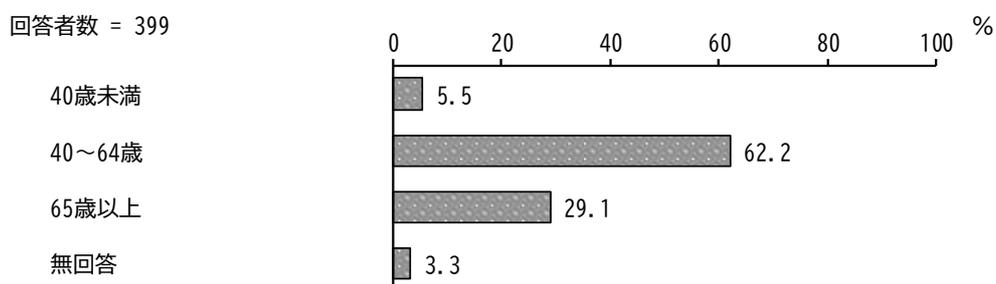
問 11-1 介助してくれる人はだれですか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 483



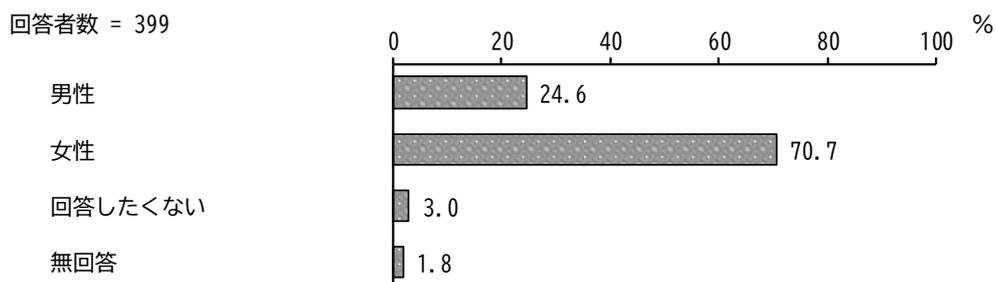
問 11-2 介助してくれる家族で中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

(1) 年齢

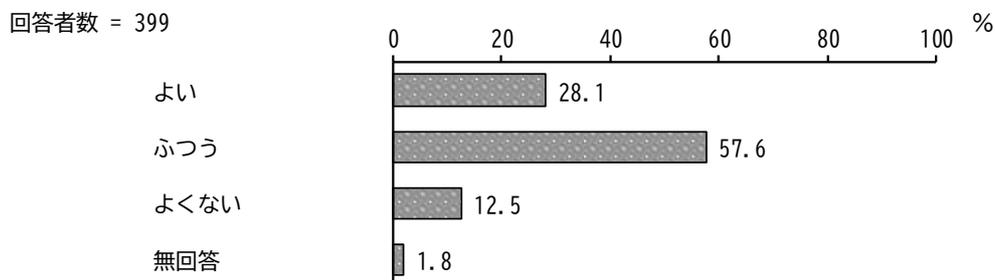


(2) 性別

「女性」の割合が約7割を占めています。



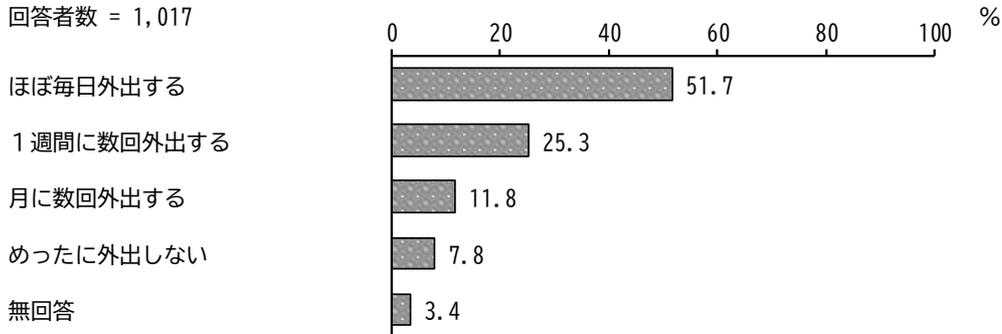
(3) 健康状態



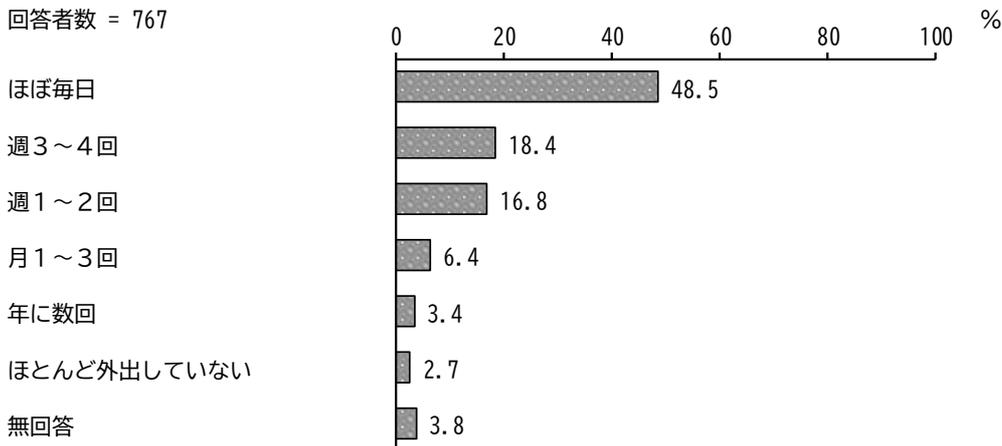
問 12 あなたはどの程度外出しますか。(〇は一つ)

「ほぼ毎日外出する」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「1 週間に数回外出する」の割合が 25.3%、「月に数回外出する」の割合が 11.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、外出頻度が少ない方が増加しています。



【平成 28 年度調査】



【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、精神障害のある人が外出を控える傾向が見てとれます。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日外出する	1 週間に数回外出する	月に数回外出する	めったに外出しない	無回答
全 体	1,017	51.7	25.3	11.8	7.8	3.4
身体障害のある人	453	49.9	25.2	11.9	9.3	3.8
知的障害のある人	272	55.9	16.9	14.0	8.1	5.1
精神障害のある人	313	40.3	31.6	15.0	10.2	2.9
難病患者	121	52.1	30.6	6.6	8.3	2.5

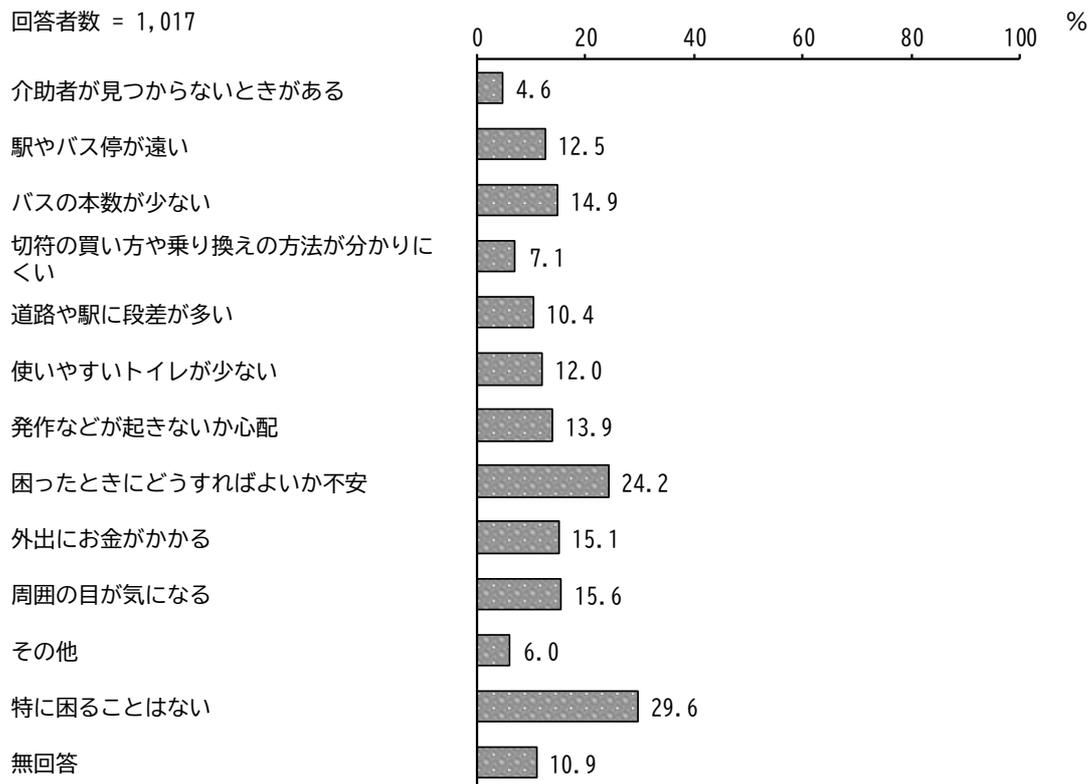
【サービスの利用状況別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日外出 する	1週間に数回 外出する	月に数回外出 する	めったに外出 しない	無回答
全体	1,017	51.7	25.3	11.8	7.8	3.4
サービスを受けている	361	49.0	25.5	12.7	9.7	3.0
サービスを受けていない	560	54.8	23.6	11.8	6.6	3.2

問 13 外出の時に困ることは何ですか。(○はいくつでも)

「困ったときにどうすればよいか不安」の割合が 24.2%、「周囲の目が気になる」の割合が 15.6%と比較的高くなっています。



◇主なその他意見

- ・症状が出るんじゃないか不安
- ・道路がでこぼこしている
- ・聴覚障害なので、人ごみ等でガヤガヤしているところは聞こえないことが良くある
- ・子どもを連れて行かなければいけないこと
- ・色々な場所の表示の点字が非常に少ない
- ・放送等が聞こえない
- ・信号機が見にくい など

【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、精神障害のある人で「周囲の目が気になる」「発作などが起きないか心配」「外出にお金がかかる」の割合が高くなっています。

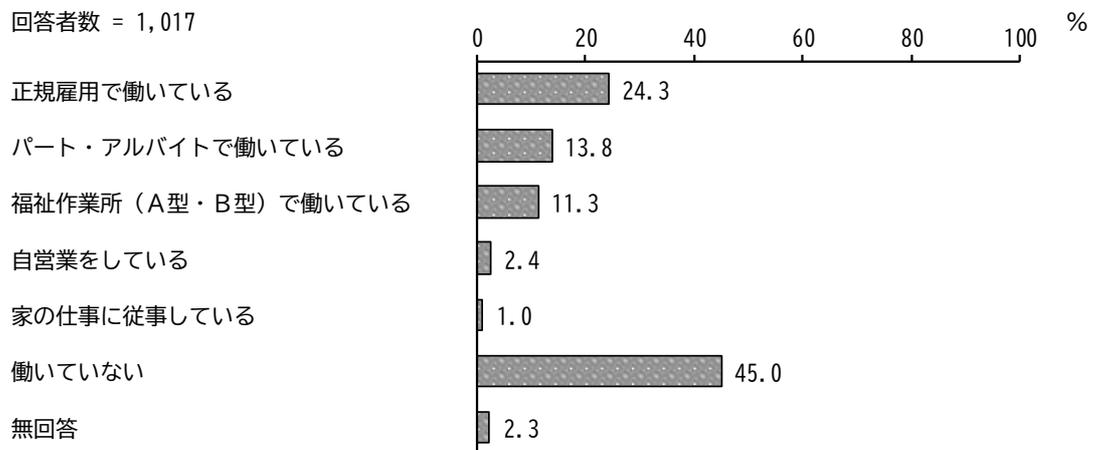
単位：%

区分	回答者数(件)	介助者が見つからないときがある	駅やバス停が遠い	バスの本数が少ない	切符の買い方や乗り換えの方法が分かりにくい	道路や駅に段差が多い	使いやすいトイレが少ない
全 体	1,017	4.6	12.5	14.9	7.1	10.4	12.0
身体障害のある人	453	5.3	12.8	14.8	4.4	18.8	15.9
知的障害のある人	272	7.4	13.2	14.7	13.6	6.3	12.9
精神障害のある人	313	4.2	14.1	18.5	8.3	7.3	10.2
難病患者	121	4.1	9.9	15.7	6.6	8.3	12.4

区分	発作などが起きないか心配	困ったときにどうすればよいか不安	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	その他	特に困ることはない	無回答
全 体	13.9	24.2	15.1	15.6	6.0	29.6	10.9
身体障害のある人	14.3	17.9	11.9	9.5	8.2	29.6	11.3
知的障害のある人	10.7	32.4	17.3	15.8	7.7	22.4	11.8
精神障害のある人	22.7	35.5	24.0	28.8	4.2	19.8	9.6
難病患者	14.9	21.5	18.2	14.0	4.1	31.4	14.0

問 14 現在収入を得て働いていますか。(○は一つ)

「働いていない」の割合が45.0%と最も高く、次いで「正規雇用で働いている」の割合が24.3%、「パート・アルバイトで働いている」の割合が13.8%となっています。



【性別】

性別をみると、「正規雇用で働いている」の割合が男女で3倍以上の開きがあります。

平成 28 年度調査と比較すると、男性と女性の正規雇用で働いている割合にほとんど変化は見られませんでした。

単位：％

区分	回答者数(件)	正規雇用で働いている	パート・アルバイトで働いている	福祉作業所(A型・B型)で働いている	自営業をしている	家の仕事に従事している	働いていない	無回答
全体	1,017	24.3	13.8	11.3	2.4	1.0	45.0	2.3
男性	569	34.8	10.4	10.5	3.5	0.7	38.0	2.1
女性	428	11.2	18.5	12.4	0.9	1.4	54.0	1.6
回答したくない	13	7.7	15.4	15.4	—	—	53.8	7.7

【平成 28 年度調査】

単位：％

区分	回答者数(件)	正規雇用者として働いている	正規雇用者以外として働いている	自営業をしている(家の仕事を手伝っている)	障害者のための通所サービスをj利用して働いている	介護保険の通所サービスを利用している	病院等のデイケアを利用している	リハビリテーションを受けている	学校に通っている	ボランテニアなどの社会活動を行っている	病院に入院や施設に入所している	その他	家庭内で過ごしている	無回答
全体	766	23.2	13.7	3.7	17.6	2.3	1.3	0.5	0.5	0.4	2.9	3.5	27.8	2.5
男性	399	34.8	11.5	3.3	18.5	2.0	1.0	0.3	0.8	0.3	3.5	3.3	19.3	1.5
女性	367	10.6	16.1	4.1	16.6	2.7	1.6	0.8	0.3	0.5	2.2	3.8	37.1	3.5

【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、精神障害のある人で「働いていない」の割合が、知的障害のある人で「福祉作業所（A型・B型）で働いている」の割合が高くなっています。

単位：％

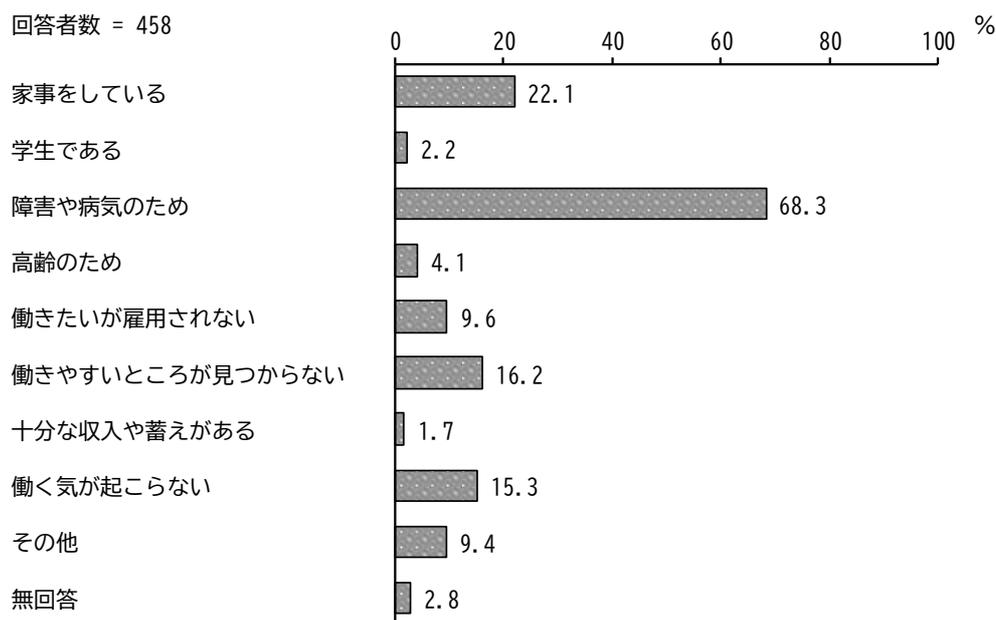
区分	回答者数（件）	正規雇用で働いている	パート・アルバイトで働いている	福祉作業所（A型・B型）で働いている	自営業をしている	家の仕事に従事している	働いていない	無回答
全体	1,017	24.3	13.8	11.3	2.4	1.0	45.0	2.3
身体障害のある人	453	28.3	10.4	9.7	3.5	0.2	45.9	2.0
知的障害のある人	272	18.8	12.1	22.4	—	0.4	42.3	4.0
精神障害のある人	313	15.0	14.1	10.9	1.0	1.0	56.9	1.3
難病患者	121	22.3	14.9	8.3	4.1	0.8	48.8	0.8

【サービスの利用状況別】

単位：％

区分	回答者数（件）	正規雇用で働いている	パート・アルバイトで働いている	福祉作業所（A型・B型）で働いている	自営業をしている	家の仕事に従事している	働いていない	無回答
全体	1,017	24.3	13.8	11.3	2.4	1.0	45.0	2.3
サービスを受けている	361	10.8	9.1	26.3	2.5	0.6	47.9	2.8
サービスを受けていない	560	33.2	17.7	2.9	2.0	1.3	42.1	0.9

問 14-1 働いていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



【障害の種類別】

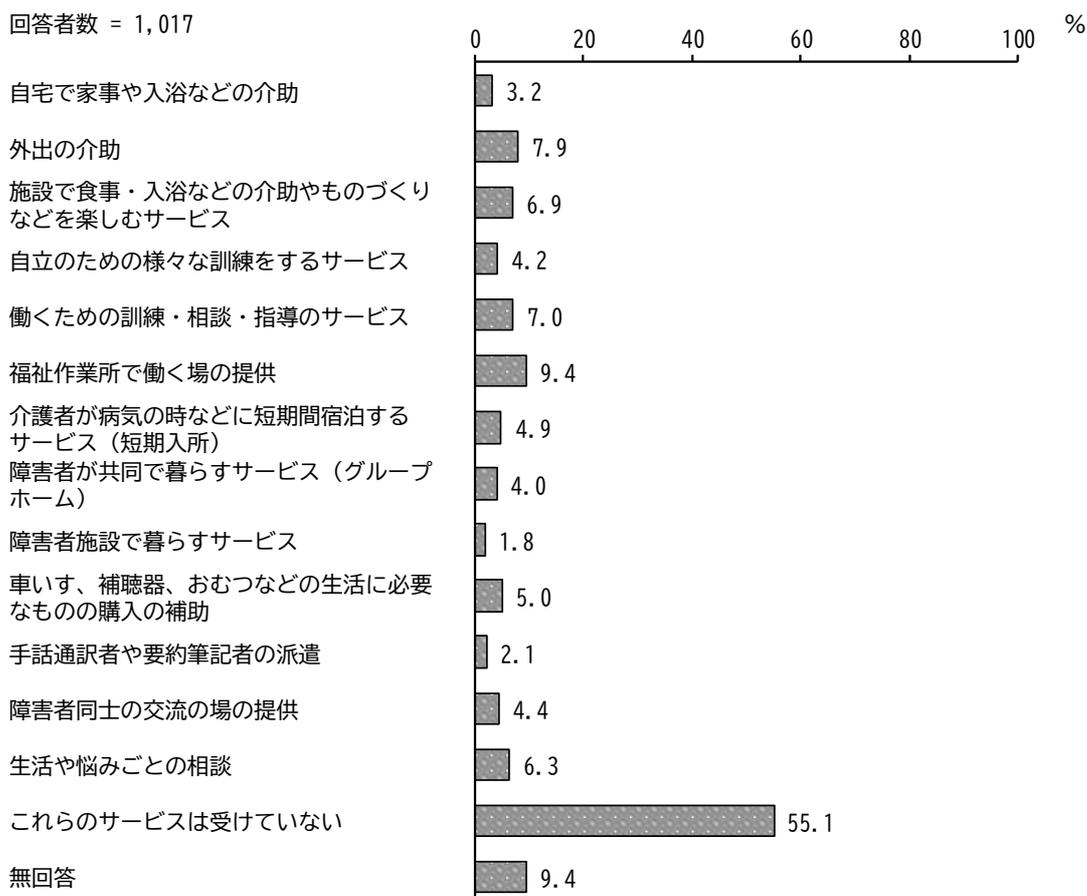
障害の種類別にみると、他に比べ、精神障害のある人で「働きやすいところが見つからない」「働きたいが雇用されない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家事をしている	学生である	障害や病気のため	高齢のため	働きたいが雇用されない	働きやすいところが見つからない	十分な収入や蓄えがある	働く気が起こらない	その他	無回答
全体	458	22.1	2.2	68.3	4.1	9.6	16.2	1.7	15.3	9.4	2.8
身体障害のある人	208	17.8	1.4	76.9	3.4	7.2	8.7	1.4	9.1	4.3	1.9
知的障害のある人	115	5.2	5.2	66.1	1.7	7.0	7.0	—	7.0	12.2	6.1
精神障害のある人	178	21.3	0.6	79.2	2.2	14.6	24.2	1.1	23.0	10.1	1.1
難病患者	59	28.8	—	71.2	8.5	8.5	18.6	—	3.4	3.4	—

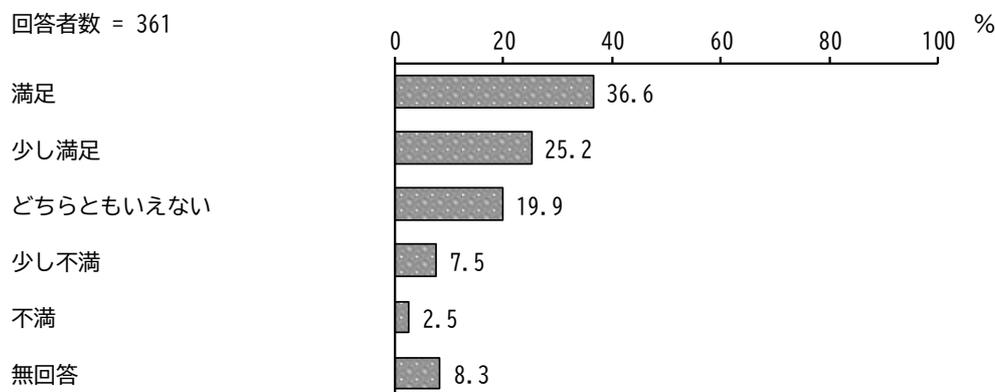
(3) 障害福祉サービスなどについて

問 15 あなたは次のサービスを受けていますか。(〇はいくつでも)



問 15-1 そのサービスにどれくらい満足していますか。(〇は一つ)

「満足」と「少し満足」を合わせた“満足”の割合が 61.8%、「少し不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が 10.0%となっています。



【障害の種類別】

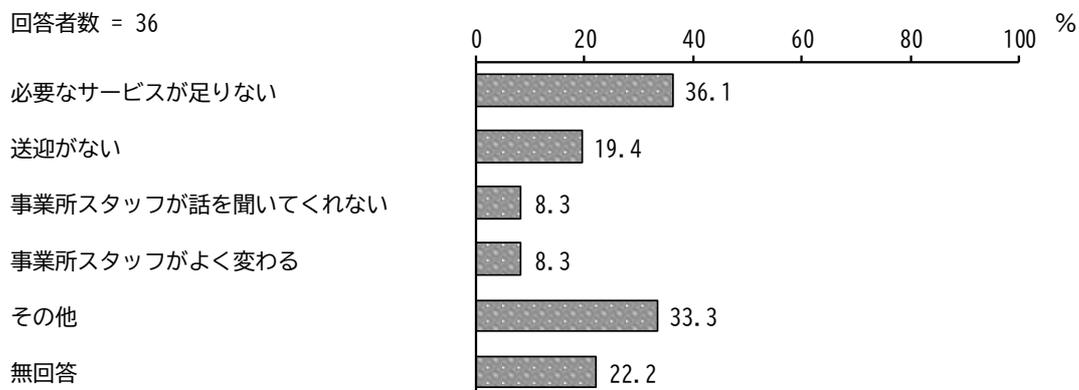
障害の種類別にみると、他に比べ、身体障害のある人で満足度が低い傾向が見られます。

単位：%

区分	回答者数(件)	満足	少し満足	どちらともいえない	少し不満	不満	無回答
全体	361	36.6	25.2	19.9	7.5	2.5	8.3
身体障害のある人	163	31.3	20.9	21.5	9.2	4.3	12.9
知的障害のある人	162	38.3	29.0	19.8	6.2	2.5	4.3
精神障害のある人	108	37.0	27.8	18.5	6.5	1.9	8.3
難病患者	29	37.9	24.1	24.1	6.9	3.4	3.4

問 15-2 そのサービスに不満な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 36

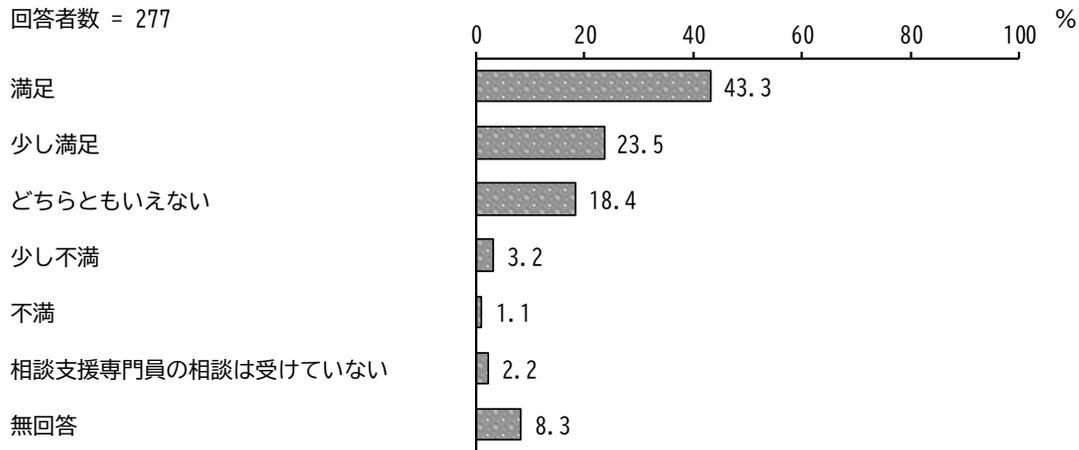


◇主なその他意見

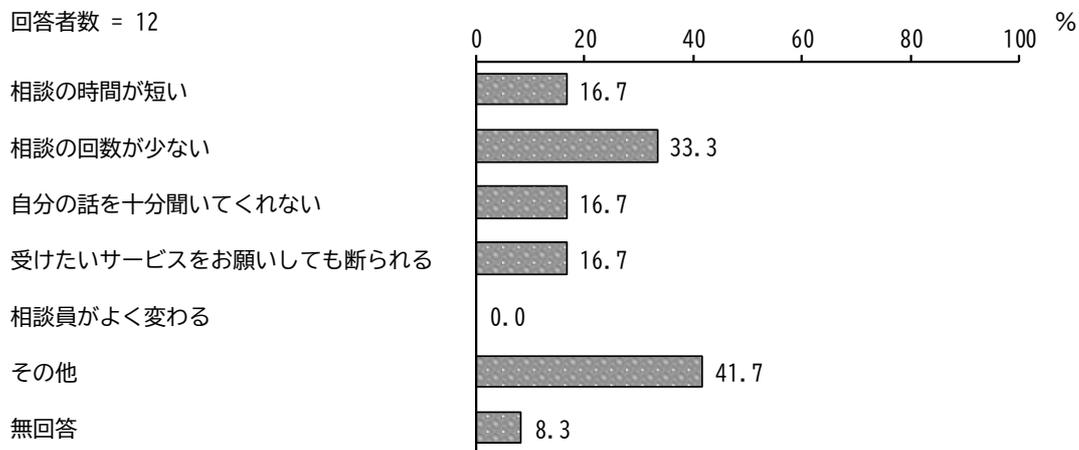
- ・コロナで面会が出来ないこと
- ・施設外のシステムがしっかりしていない
- ・派遣できる要件がすくない
- ・守秘義務が守れない者がいる など

問 15-3 サービス等利用計画書を作るために相談支援専門員に相談してもらっていますが、その相談にどれくらい満足していますか。(○は一つ)

「満足」と「少し満足」を合わせた“満足”の割合が 66.8%、「少し不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が 4.3%となっています。



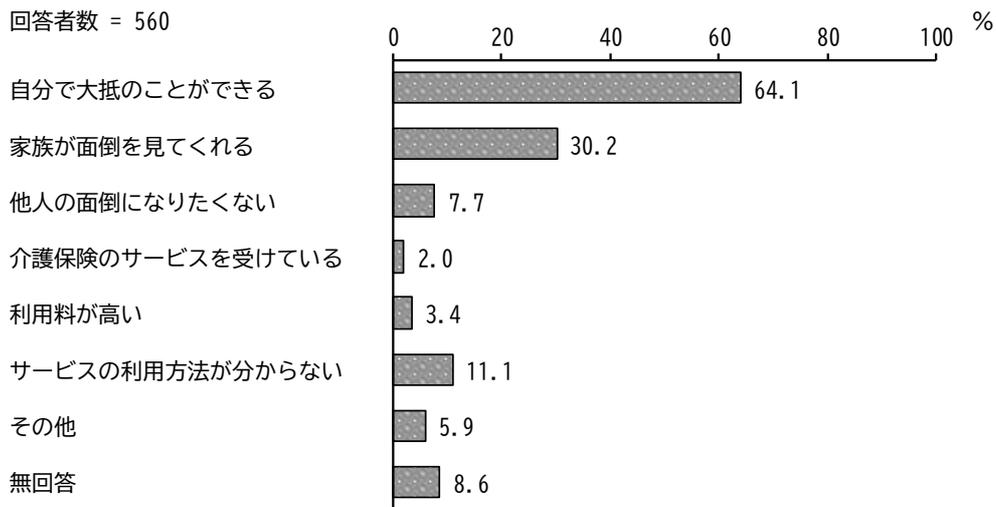
問 15-4 その相談に不満な理由は何ですか。(○はいくつでも)



◇主なその他意見

- ・相談員が突然変わる
- ・慣れ合いになっている
- ・連絡が見つからない など

問 15-5 そのサービスを受けていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



◇主なその他意見

- ・相談の先がわからない
- ・外出がおっくう
- ・同居人がしてくれている
- ・どんなサービスがあるか分からない
- ・精神と介護では分野が異なる為、受入口がない
- ・自分で出来るから など

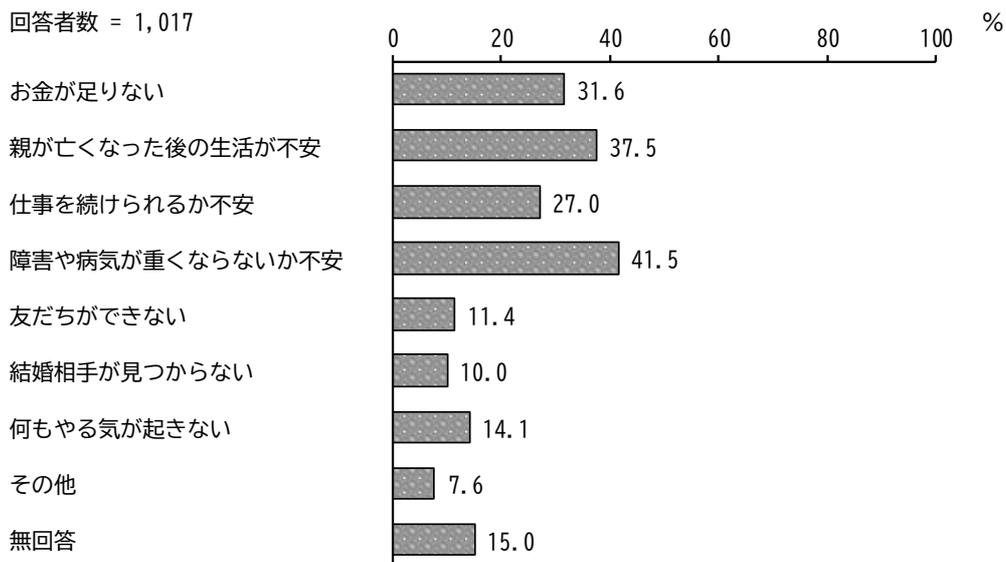
【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害のある人で「家族が面倒を見てくれる」の割合が、精神障害のある人で「家族が面倒を見てくれる」「サービスの利用方法が分からない」「他人の面倒になりたくない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分で大抵のことができる	家族が面倒を見てくれる	他人の面倒になりたくない	介護保険のサービスを受けている	利用料が高い	サービスの利用方法が分からない	その他	無回答
全体	560	64.1	30.2	7.7	2.0	3.4	11.1	5.9	8.6
身体障害のある人	246	69.1	25.6	6.9	4.5	2.4	10.2	5.3	10.2
知的障害のある人	95	46.3	46.3	3.2	1.1	3.2	9.5	6.3	12.6
精神障害のある人	170	45.3	41.2	12.4	1.2	5.3	17.1	8.8	8.8
難病患者	84	69.0	27.4	6.0	2.4	2.4	10.7	3.6	6.0

問 16 現在不安なことや困っていることはありませんか。(〇はいくつでも)



◇主なその他意見

- ・ 家族の迷惑になっている
- ・ 将来生活する施設が見つかるか
- ・ 子育て
- ・ 長く続けられる仕事に全く出会えない
- ・ 自分に合う仕事が見つかるか不安 など

【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害のある人で「親が亡くなった後の生活が不安」の割合が、精神障害のある人で「お金が足りない」「何もやる気が起きない」「友だちができない」「結婚相手が見つからない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	お金が足りない	親が亡くなった後の生活が不安	仕事を続けられるか不安	障害や病気が重くならないか不安	友だちができない	結婚相手が見つからない	何もやる気が起きない	その他	無回答
全 体	1,017	31.6	37.5	27.0	41.5	11.4	10.0	14.1	7.6	15.0
身体障害のある人	453	27.2	25.8	23.8	48.8	5.1	7.3	9.9	6.6	18.1
知的障害のある人	272	20.6	71.0	24.6	28.3	10.7	8.1	2.6	4.0	11.4
精神障害のある人	313	47.3	48.6	32.9	50.2	23.0	17.3	27.5	6.7	6.1
難病患者	121	34.7	31.4	24.8	47.9	11.6	6.6	12.4	9.9	11.6

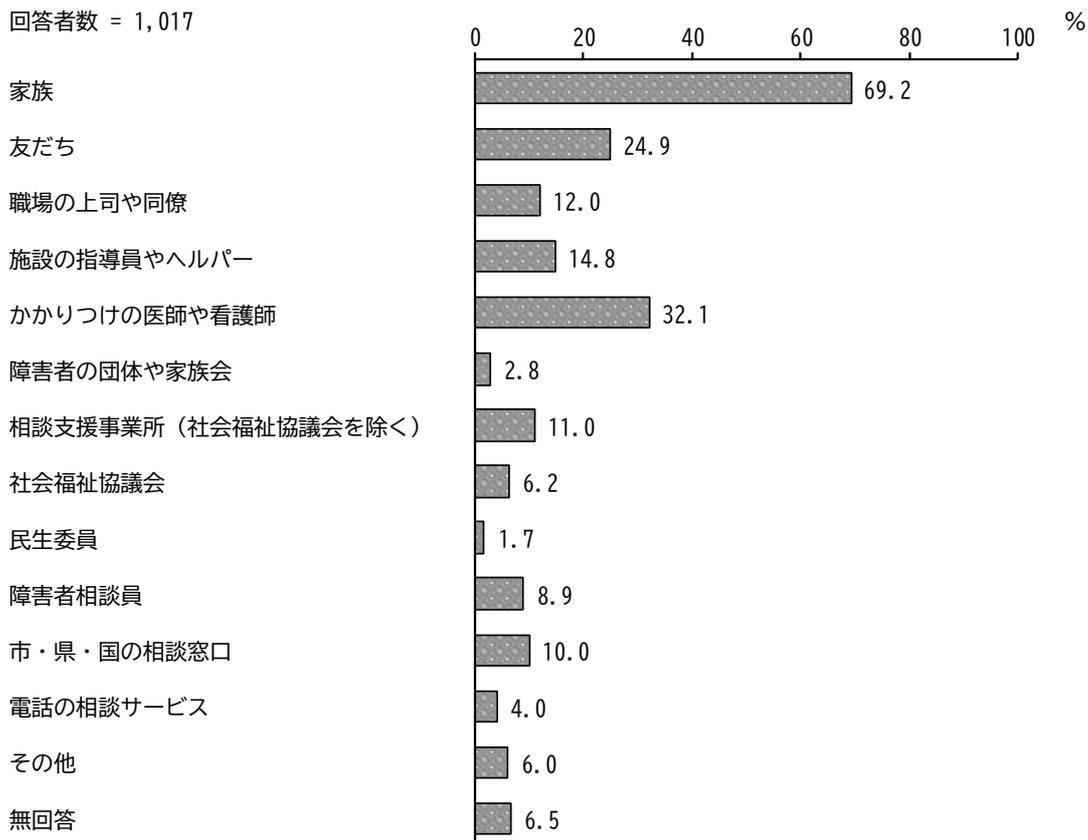
【サービスの利用状況別】

単位：%

区分	回答者数(件)	お金が足りない	親が亡くなった後の生活が不安	仕事を続けられるか不安	障害や病気が重くならないか不安	友だちができない	結婚相手が見つからない	何もやる気が起きない	その他	無回答
全体	1,017	31.6	37.5	27.0	41.5	11.4	10.0	14.1	7.6	15.0
サービスを受けている	361	33.2	52.9	24.4	37.7	11.1	8.6	8.9	6.9	11.1
サービスを受けていない	560	30.4	28.4	29.6	44.6	11.1	10.7	16.6	8.2	15.9

問 17 悩みや困りごとがあったらだれ(どこ)に相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 1,017



◇主なその他意見

- ・ デイケア、病院のワーカーさん
- ・ ケアマネージャー
- ・ リハビリの先生
- ・ カウンセラー
- ・ 同じ障害を持っている人 など

【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害のある人で「施設の指導員やヘルパー」「相談支援事業所（社会福祉協議会を除く）」の割合が、精神障害のある人で「かかりつけの医師や看護師」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	家族	友だち	職場の上司や同僚	施設の指導員やヘルパー	かかりつけの医師や看護師	障害者の団体や家族会	相談支援事業所（社会福祉協議会を除く）
全 体	1,017	69.2	24.9	12.0	14.8	32.1	2.8	11.0
身体障害のある人	453	66.4	23.6	10.6	12.6	28.3	2.6	8.6
知的障害のある人	272	68.0	15.4	11.8	33.8	19.5	3.3	24.3
精神障害のある人	313	68.1	28.1	13.4	11.8	47.3	2.6	13.1
難病患者	121	68.6	24.0	9.1	9.1	34.7	4.1	7.4

区分	社会福祉協議会	民生委員	障害者相談員	市・県・国の相談窓口	電話の相談サービス	その他	無回答
全 体	6.2	1.7	8.9	10.0	4.0	6.0	6.5
身体障害のある人	7.5	3.1	9.5	9.1	4.2	5.3	8.4
知的障害のある人	10.7	0.7	14.0	7.4	1.8	4.0	5.1
精神障害のある人	5.8	1.9	9.9	13.4	6.1	8.6	4.2
難病患者	5.0	3.3	6.6	13.2	2.5	3.3	5.8

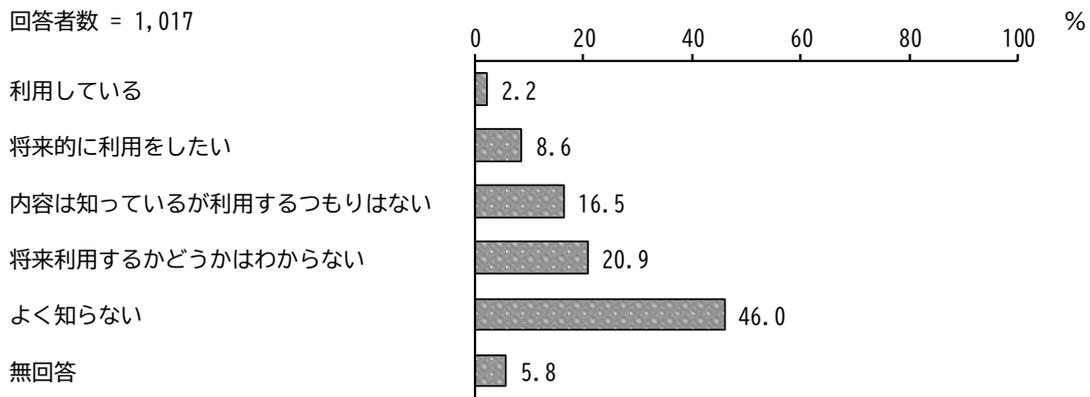
【サービスの利用状況別】

単位：%

区分	回答者数(件)	家族	友だち	職場の上司や同僚	施設の指導員やヘルパー	かかりつけの医師や看護師	障害者の団体や家族会	相談支援事業所(社会福祉協議会を除く)
全体	1,017	69.2	24.9	12.0	14.8	32.1	2.8	11.0
サービスを受けている	361	63.2	21.1	11.6	35.2	28.5	5.0	23.3
サービスを受けていない	560	74.8	26.8	13.0	3.8	34.3	1.8	4.1

区分	社会福祉協議会	民生委員	障害者相談員	市・県・国の相談窓口	電話の相談サービス	その他	無回答
全体	6.2	1.7	8.9	10.0	4.0	6.0	6.5
サービスを受けている	11.1	1.7	13.3	7.8	2.2	7.2	5.0
サービスを受けていない	3.4	1.4	7.0	12.1	5.7	5.2	5.7

問 18 成年後見制度※についてどのように思いますか。(〇は一つ)



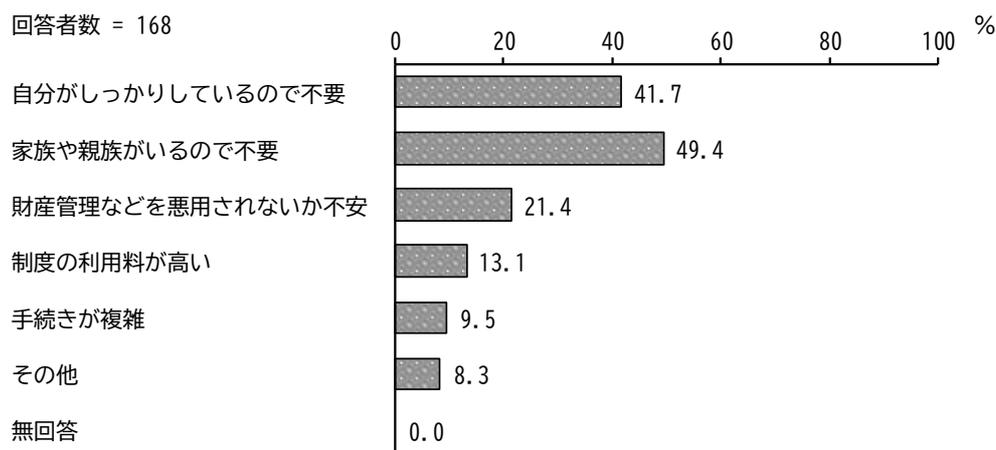
【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害のある人で「利用している」「将来的に利用をしたい」の割合が高くなっています。また、知的障害のある人は「よく知らない」が31.3%しかなく、関心の高さが伺えます。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用している	将来的に利用をしたい	内容は知っているが利用するつもりはない	将来利用するかどうかはわからない	よく知らない	無回答
全 体	1,017	2.2	8.6	16.5	20.9	46.0	5.8
身体障害のある人	453	2.6	7.1	16.8	20.3	45.3	7.9
知的障害のある人	272	6.6	19.1	12.1	24.3	31.3	6.6
精神障害のある人	313	0.3	5.4	17.3	17.9	55.6	3.5
難病患者	121	1.7	8.3	14.9	19.0	51.2	5.0

問 18-1 利用するつもりがないのはなぜですか。(〇はいくつでも)



◇主なその他意見

- ・一旦、後見人を決めたら簡単に解任出来ない
- ・制度を利用する人の意思が反映出来にくい
- ・後見人が先に亡くなった時に困る など

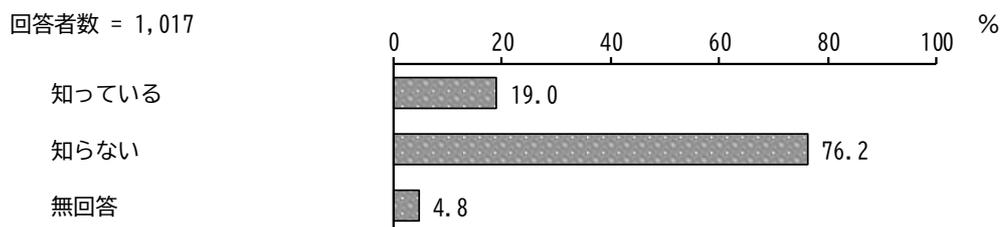
【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害のある人で「財産管理などを悪用されないか不安」「制度の利用料が高い」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分がしっかりしているの で不要	家族や親族がいるので不要	財産管理などを悪用されな いか不安	制度の利用料が高い	手続きが複雑	その他	無回答
全 体	168	41.7	49.4	21.4	13.1	9.5	8.3	—
身体障害のある人	76	40.8	44.7	19.7	15.8	9.2	6.6	—
知的障害のある人	33	6.1	48.5	39.4	33.3	21.2	15.2	—
精神障害のある人	54	38.9	51.9	25.9	16.7	16.7	13.0	—
難病患者	18	61.1	55.6	22.2	16.7	16.7	5.6	—

問 19 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）について
知っていますか。



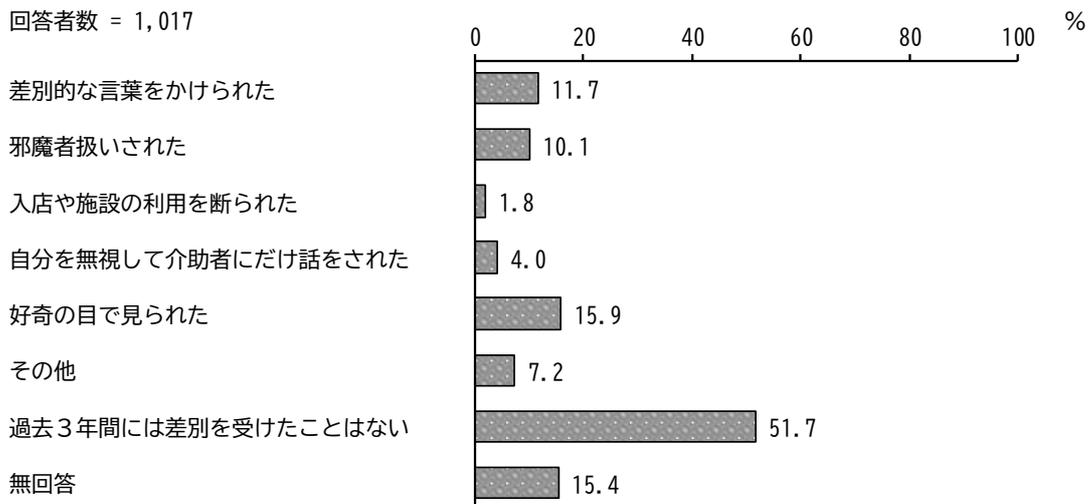
【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、精神障害のある人及び難病患者で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	1,017	19.0	76.2	4.8
身体障害のある人	453	22.3	71.7	6.0
知的障害のある人	272	21.3	73.9	4.8
精神障害のある人	313	15.0	81.8	3.2
難病患者	121	13.2	81.8	5.0

問 19-1 あなたは過去3年ぐらいのうちに、障害があることで差別を受けたことがありますか。(〇はいくつでも)



◇主なその他意見

- ・ 順番を後に回された
- ・ 出世できないと言われた
- ・ 他の病院で病気を理解されない
- ・ 職場での無理な配置転換
- ・ パワハラをうけた
- ・ 職場を解雇された など

【障害の種類別】

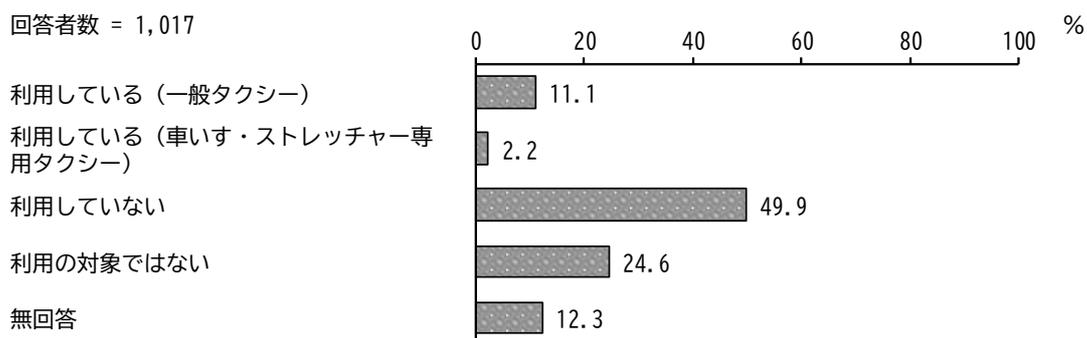
障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害のある人で「好奇の目で見られた」の割合が、精神障害のある人で「差別的な言葉をかけられた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	差別的な言葉をかけられた	邪魔者扱いされた	入店や施設の利用を断られた	自分を無視して介助者にだけ話をされた	好奇の目で見られた	その他	過去3年間には差別を受けたことはない	無回答
全体	1,017	11.7	10.1	1.8	4.0	15.9	7.2	51.7	15.4
身体障害のある人	453	8.4	8.8	1.8	4.4	15.7	6.6	52.5	16.8
知的障害のある人	272	10.7	10.3	1.8	4.8	26.1	7.0	40.8	18.0
精神障害のある人	313	20.8	13.4	1.6	5.4	17.3	8.0	49.5	11.5
難病患者	121	7.4	6.6	1.7	3.3	14.0	7.4	60.3	14.0

(4) 障害者福祉タクシー助成について

問 20 障害者福祉タクシー助成を利用していますか。



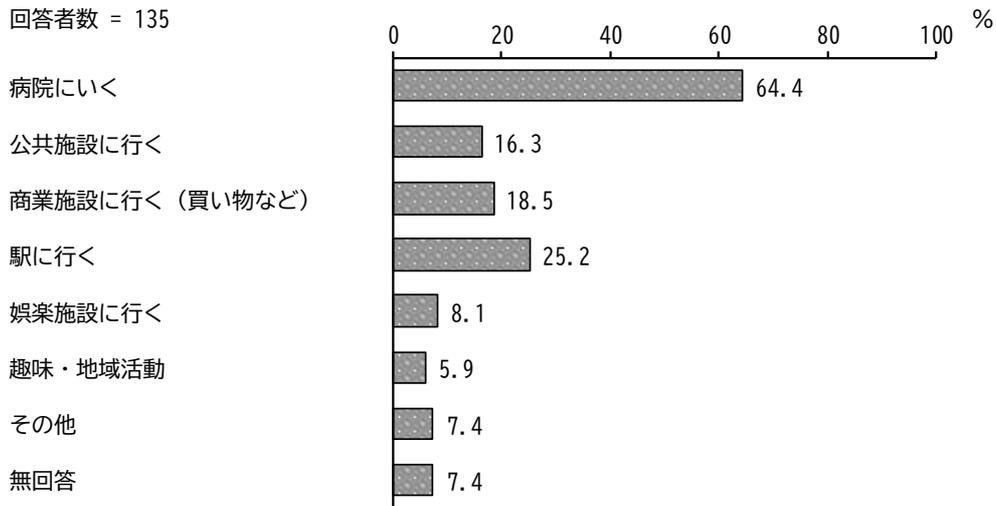
【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害のある人で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	利用している（一般タクシー）	利用している（車いす・ストレッチャー専用タクシー）	利用していない	利用の対象ではない	無回答
全 体	1,017	11.1	2.2	49.9	24.6	12.3
身体障害のある人	453	11.0	4.4	54.3	18.8	11.5
知的障害のある人	272	9.6	1.8	64.3	15.8	8.5
精神障害のある人	313	18.8	1.3	51.1	19.2	9.6
難病患者	121	11.6	2.5	42.1	33.9	9.9

問 20-1 主な利用の目的を教えてください。(〇はいくつでも)



【障害の種類別】

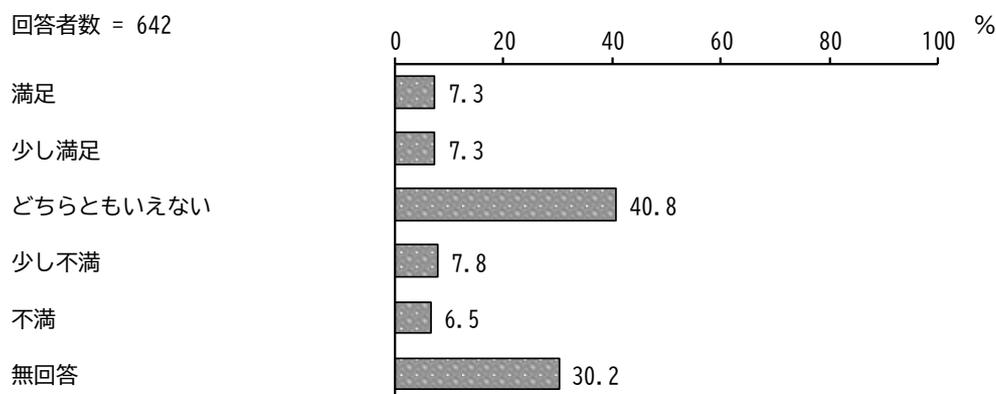
障害の種類別にみると、他に比べ、難病患者で「病院に行く」「商業施設に行く (買い物など)」の割合が、精神障害のある人で「病院に行く」「駅に行く」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	病院に行く	公共施設に行く	商業施設に行く (買い物など)	駅に行く	娯楽施設に行く	趣味・地域活動	その他	無回答
全 体	135	64.4	16.3	18.5	25.2	8.1	5.9	7.4	7.4
身体障害のある人	70	65.7	15.7	18.6	22.9	12.9	4.3	7.1	8.6
知的障害のある人	31	48.4	12.9	22.6	19.4	16.1	9.7	3.2	6.5
精神障害のある人	63	73.0	17.5	17.5	31.7	7.9	6.3	9.5	4.8
難病患者	17	70.6	5.9	29.4	23.5	17.6	5.9	11.8	—

問 20-2 タクシー助成にどれくらい満足していますか。(〇は一つ)

「満足」と「少し満足」を合わせた“満足”の割合が 14.6%、「少し不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が 14.3%となっています。



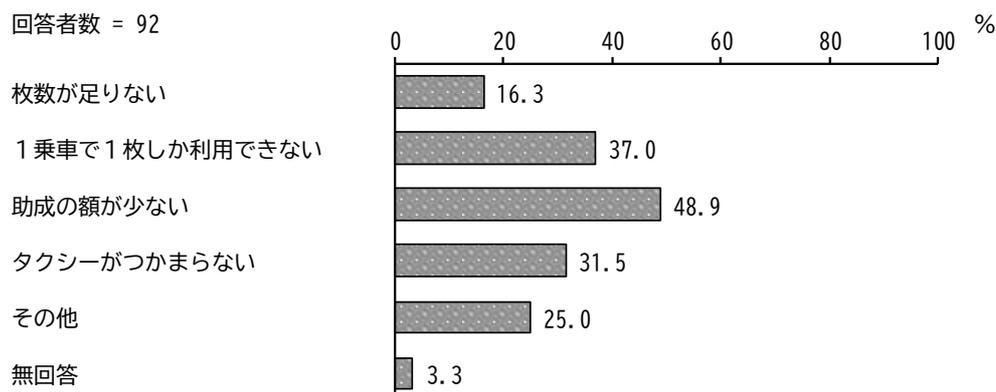
【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、精神障害のある人で“不満”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	満足	少し満足	どちらともいえない	少し不満	不満	無回答
全 体	642	7.3	7.3	40.8	7.8	6.5	30.2
身体障害のある人	316	7.3	7.9	37.7	7.9	4.4	34.8
知的障害のある人	206	6.8	4.9	40.3	4.4	6.3	37.4
精神障害のある人	223	8.5	9.4	42.2	11.2	10.3	18.4
難病患者	68	2.9	19.1	30.9	4.4	10.3	32.4

問 21 タクシー助成に不満な理由は何ですか。(〇はいくつでも)



◇主なその他意見

- ・運転手からタクシー券の使い方について、文句を言われた（先に言え的な事）
- ・結局高額なので使えない
- ・自動車税の減免を受けていると利用できない
- ・他の市で使えない
- ・減免を受けている人も対象と知らなかった など

【障害の種類別】

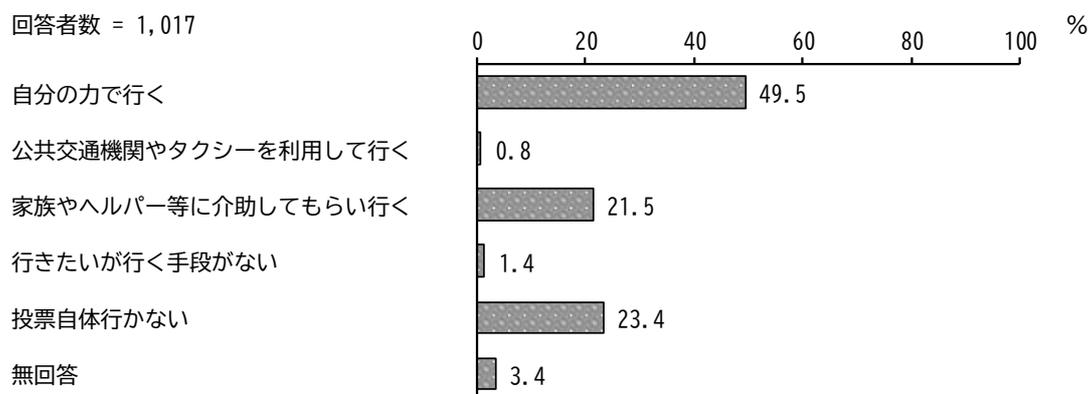
障害の種類別にみると、他に比べ、身体障害のある人で「枚数が足りない」の割合が、知的障害のある人で「タクシーがつかまらない」の割合が、精神障害のある人で「助成の額が少ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	枚数が足りない	1乗車で1枚しか利用できない	助成の額が少ない	タクシーがつかまらない	その他	無回答
全体	92	16.3	37.0	48.9	31.5	25.0	3.3
身体障害のある人	39	28.2	35.9	43.6	33.3	20.5	2.6
知的障害のある人	22	18.2	31.8	36.4	40.9	50.0	—
精神障害のある人	48	8.3	37.5	54.2	27.1	22.9	6.3
難病患者	10	10.0	40.0	40.0	10.0	20.0	20.0

(5) 選挙の投票について

問 22 選挙の投票所にはどのように行きますか。(〇は一つ)



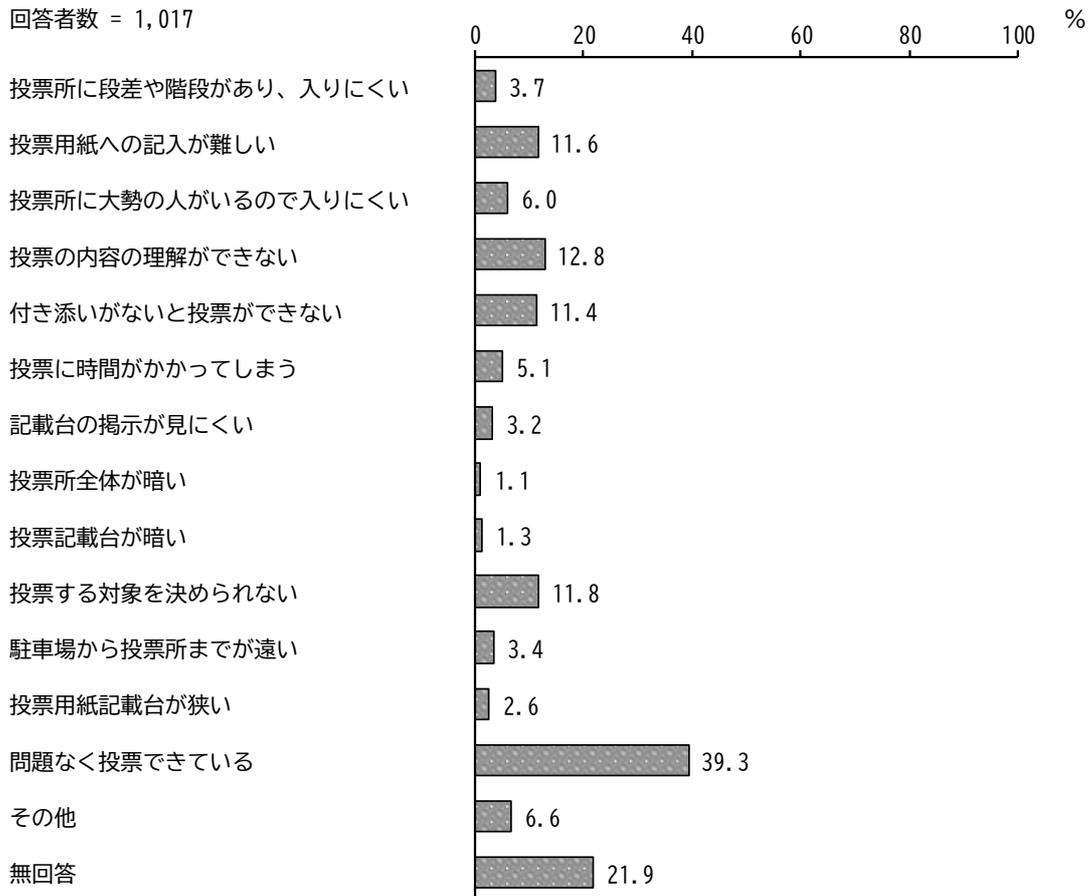
【障害の種類別】

障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害のある人で「投票自体行かない」「家族やヘルパー等に介助してもらい行く」の割合が、難病患者で「自分の力で行く」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分の力で行く	公共交通機関やタクシーを利用して行く	家族やヘルパー等に介助してもらい行く	行きたいが行く手段がない	投票自体行かない	無回答
全体	1,017	49.5	0.8	21.5	1.4	23.4	3.4
身体障害のある人	453	52.1	0.4	19.0	2.2	21.4	4.9
知的障害のある人	272	21.7	0.4	33.1	0.4	40.4	4.0
精神障害のある人	313	44.7	1.3	25.2	1.9	24.0	2.9
難病患者	121	63.6	—	11.6	0.8	22.3	1.7

問 23 投票所で障害となっている事案がありましたらお教えてください。(〇はいくつでも)



◇主なその他意見

- ・発作がこわい
- ・駐車場が少ない
- ・人目が怖い
- ・近くの公民館では段差があるため不在者投票で市役所へ行っている など

【障害の種類別】

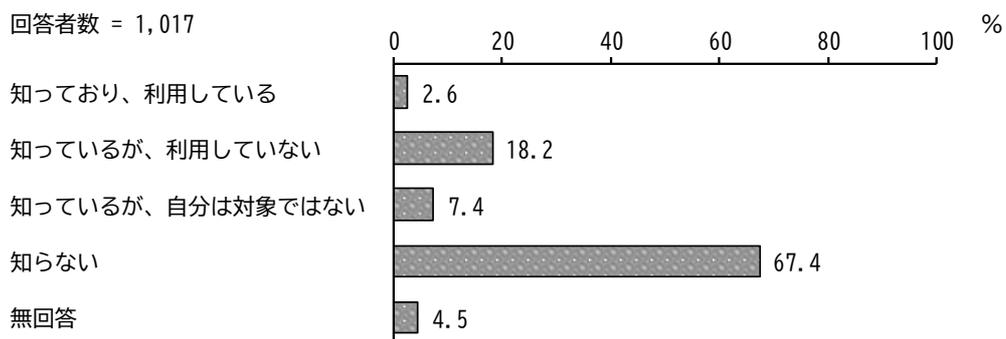
障害の種類別にみると、他に比べ、知的障害のある人で「投票の内容の理解ができない」「投票用紙への記入が難しい」「付き添いがないと投票ができない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	投票所に段差や階段があり、入りにくい	投票用紙への記入が難しい	投票所に大勢の人がいるので入りにくい	投票の内容の理解ができない	付き添いがないと投票ができない	投票に時間がかかってしまう	記載台の掲示が見にくい
全体	1,017	3.7	11.6	6.0	12.8	11.4	5.1	3.2
身体障害のある人	453	7.1	13.2	4.9	7.5	12.8	5.1	5.1
知的障害のある人	272	1.5	26.8	6.3	35.3	25.4	8.8	4.4
精神障害のある人	313	1.9	8.3	9.9	11.2	7.0	4.5	1.9
難病患者	121	4.1	9.1	9.1	8.3	1.7	4.1	5.0

区分	投票所全体が暗い	投票記載台が暗い	投票する対象を決められない	駐車場から投票所までが遠い	投票用紙記載台が狭い	問題なく投票できている	その他	無回答
全体	1.1	1.3	11.8	3.4	2.6	39.3	6.6	21.9
身体障害のある人	1.3	2.0	7.1	5.5	3.5	41.3	6.6	21.6
知的障害のある人	—	0.4	25.4	0.4	1.8	16.5	6.6	19.9
精神障害のある人	1.6	1.6	13.1	2.9	2.6	39.9	6.4	22.7
難病患者	2.5	3.3	5.8	5.8	3.3	43.8	9.9	19.8

問 24 自宅で投票できる「郵便等による不在者投票制度」についてご存じですか。(〇は一つ)

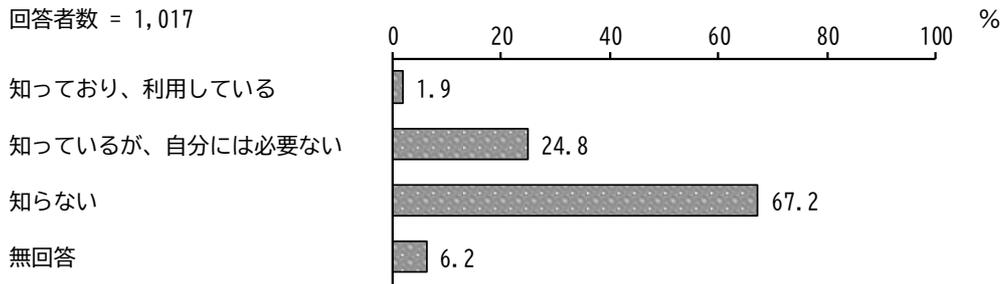


【障害の種類別】

単位：%

区分	回答者数(件)	知っている、利用している	知っているが、利用していない	知っているが、自分は対象ではない	知らない	無回答
全 体	1,017	2.6	18.2	7.4	67.4	4.5
身体障害のある人	453	3.5	20.8	7.9	61.8	6.0
知的障害のある人	272	3.7	15.4	4.0	71.3	5.5
精神障害のある人	313	1.0	17.6	8.6	70.3	2.6
難病患者	121	1.7	21.5	4.1	67.8	5.0

問 25 当日投票所で申し出れば点字投票や代理投票を行えることをご存じですか。(○は一つ)



【障害の種類別】

単位：%

区分	回答者数(件)	知っており、利用している	知っているが、自分には必要ない	知らない	無回答
全 体	1,017	1.9	24.8	67.2	6.2
身体障害のある人	453	2.9	25.8	63.4	7.9
知的障害のある人	272	3.3	19.9	69.9	7.0
精神障害のある人	313	1.3	27.5	67.7	3.5
難病患者	121	2.5	22.3	69.4	5.8

(6) 自由意見

問 26 障害福祉サービス等へのご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

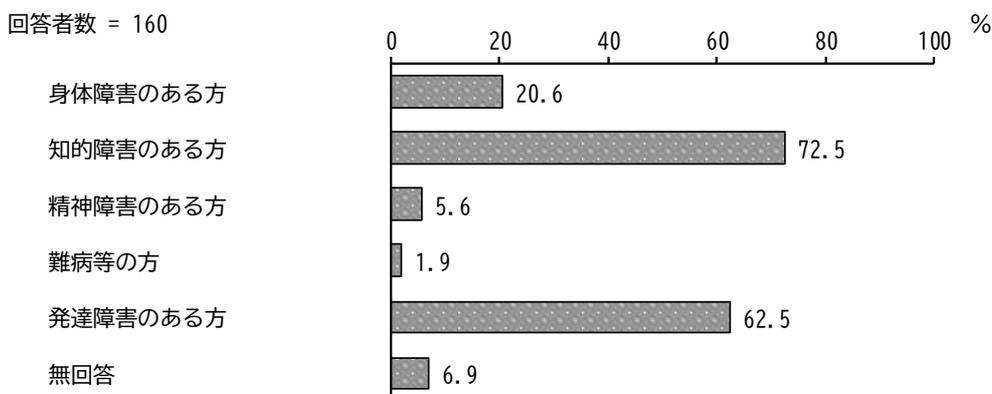
◇主な意見

- ・現在は両親が毎日生活を援助しているが高齢のため心配しています。いずれ、福祉サービスをお願いしたいと思っています。今は週1回福祉センターでの「点字教室」に通っています。
- ・年齢が上がり仕事もできなくなってきていて家族にも相談するのも気がひけてきます。お世話にならないと生活していけなくなるのでよろしくお願いします。
- ・女性の社会復帰ができるようになってきた世の中ですが、やはり障害の子を抱えていては時間的制約があり、限られてしまいます。16:00以降預かっていただけるサービスがあると嬉しいです。
- ・希望する曜日のサービス利用に対応してもらえないことがある。
- ・家族の負担を減らせるためのサービスも必要だと思う。家族がいるなら家族でやってもらえという考え方はおかしいと思う。利用するにあたって負担する金額が増えたとしてもみんなにとってのサービスを家ごとに選んで使えるものであってほしい。
- ・安城市障害福祉サービスの詳しい説明がある案内書が欲しいです。
- ・令和4年11月より介護保険制度に切り替えたため、障害福祉サービスを受けていない。両制度の併用の必要性があったが、前例が無いとの理由で適用されなかった。前例に捉われずに市民のためにより良い制度や仕組みを作っていくのも行政の責務と考えます。
- ・親が健康であれば問題ありませんが、その後が心配です。
- ・本人が通いたい所に通えるようなくみでいて欲しい。重い障害を持っており一般の総合病院だと健常の方が多く待ってられない所があります。
- ・入所施設に入る時など、今とかわらない状態で出会った方々と別れる事なくつながっていけるといいと思います。医療もありの施設、親なきあとも安心なのではと思います。自宅の近くにあるといいです。
- ・家族が特定難病です。毎年の手続きが正直大変です。本人や家族の各種手続きがもう少し軽減するよう御検討頂ければ幸いです。
- ・18才以上～50代くらいまでの障害者用のデイサービスができてほしい。
- ・メンタルクリニックや、心理カウンセリングも増えたら利用したいので増やして欲しい。
- ・行政の人たちは中にはわかりやすく話してくれる方もいるがききとりにくい時もあるのでやりとりがうまくすすみづらい時がある。わかりやすくゆっくり話してほしい。

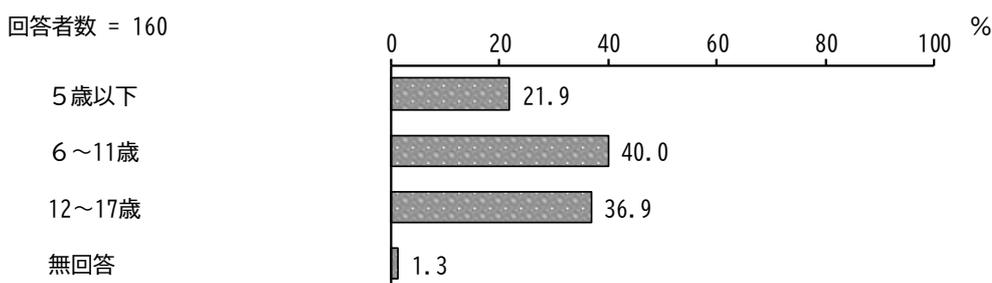
2 障害児調査

(1) 回答者属性

障害種別



問1 お子様の年齢をお答えください。



単位：%

区分	回答者数 (件)	5歳以下	6～11歳	12～17歳	無回答
全体	160	21.9	40.0	36.9	1.3
身体障害のある人	33	21.2	45.5	33.3	—
知的障害のある人	116	17.2	35.3	45.7	1.7
精神障害のある人	9	—	44.4	55.6	—
難病患者	3	—	100.0	—	—
発達障害のある人	100	18.0	42.0	39.0	1.0

問2 お子様の性別をお答えください。

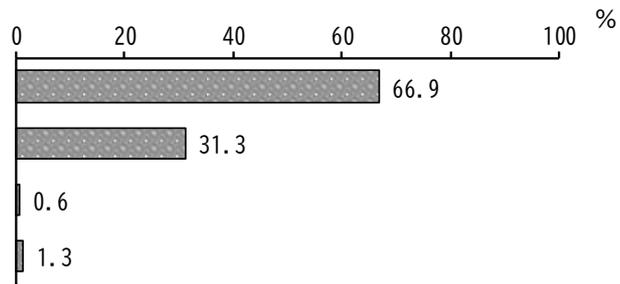
回答者数 = 160

男性

女性

回答したくない

無回答



【障害の種類別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	男性	女性	回答したくない	無回答
身体障害のある人	33	42.4	57.6	—	—
知的障害のある人	116	62.1	36.2	—	1.7
精神障害のある人	9	77.8	22.2	—	—
難病患者	3	33.3	66.7	—	—
発達障害のある人	100	71.0	28.0	1.0	—

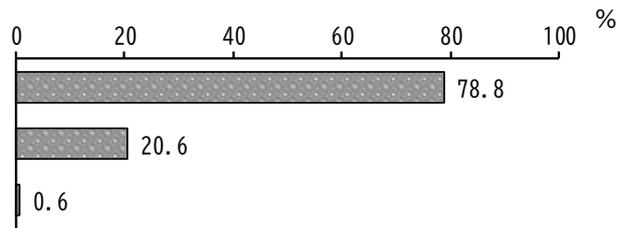
問3 お子様は身体障害者手帳をお持ちですか。(〇は一つ)

回答者数 = 160

持っていない

持っている

無回答



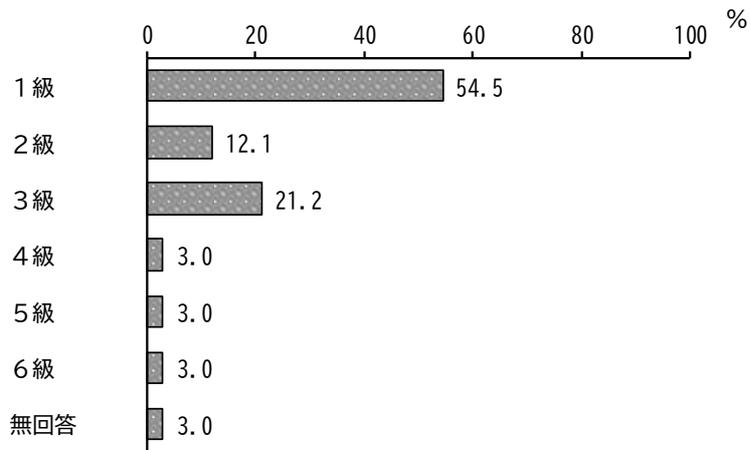
【障害の種類別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	持っていない	持っている	無回答
全 体	160	78.8	20.6	0.6
身体障害のある人	33	—	100.0	—
知的障害のある人	116	79.3	19.8	0.9
精神障害のある人	9	100.0	—	—
難病患者	3	33.3	66.7	—
発達障害のある人	100	91.0	9.0	—

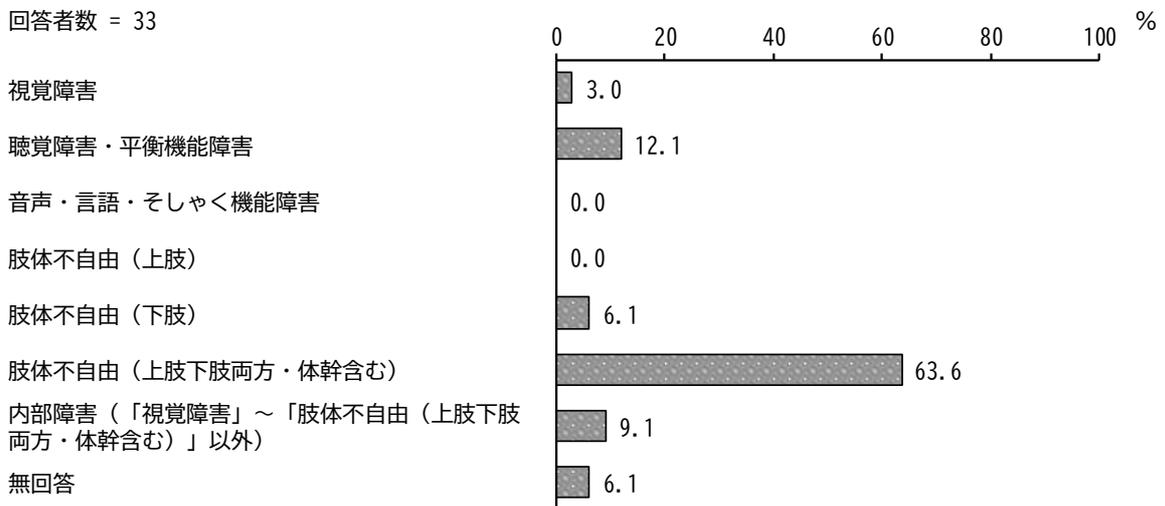
問3-1 お持ちの等級を教えてください。(〇は一つ)

回答者数 = 33



問3-2 手帳に記載のある障害を教えてください。(〇はいくつでも)

回答者数 = 33



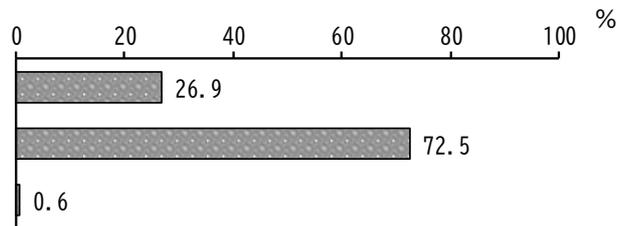
問4 お子様は療育手帳をお持ちですか。(〇は一つ)

回答者数 = 160

持っていない

持っている

無回答



【障害の種類別】

約7割の方が身体障害者手帳も持っています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	持っていない	持っている	無回答
全体	160	26.9	72.5	0.6
身体障害のある人	33	30.3	69.7	—
知的障害のある人	116	—	100.0	—
精神障害のある人	9	55.6	33.3	11.1
難病患者	3	33.3	66.7	—
発達障害のある人	100	23.0	77.0	—

問4-1 お持ちの等級を教えてください。(〇は一つ)

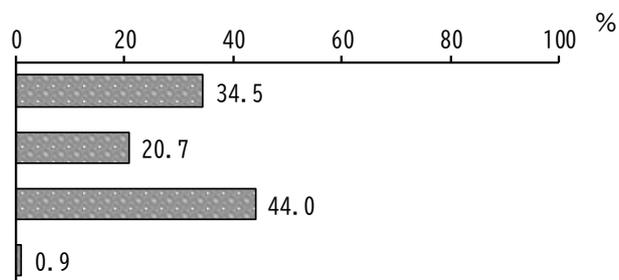
回答者数 = 116

A判定

B判定

C判定

無回答



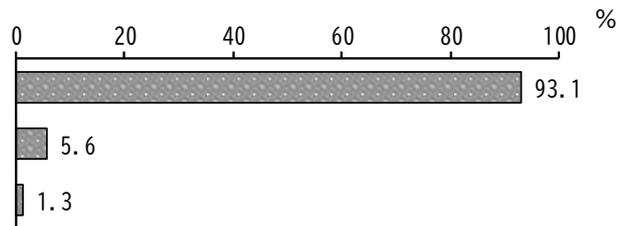
問5 お子様は精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(〇は一つ)

回答者数 = 160

持っていない

持っている

無回答



【障害の種類別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	持っていない	持っている	無回答
全 体	160	93.1	5.6	1.3
身体障害のある人	33	97.0	—	3.0
知的障害のある人	116	95.7	2.6	1.7
精神障害のある人	9	—	100.0	—
難病患者	3	100.0	—	—
発達障害のある人	100	92.0	8.0	—

問5-1 お持ちの等級を教えてください。(〇は一つ)

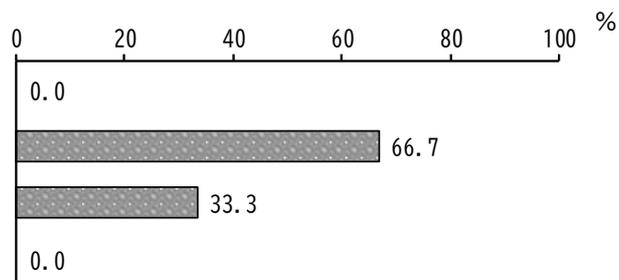
回答者数 = 9

1級

2級

3級

無回答



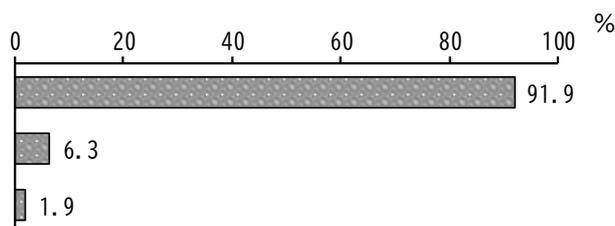
問6 お子様は自立支援医療受給者証（精神通院）をお持ちですか。（○は一つ）

回答者数 = 160

持っていない

持っている

無回答



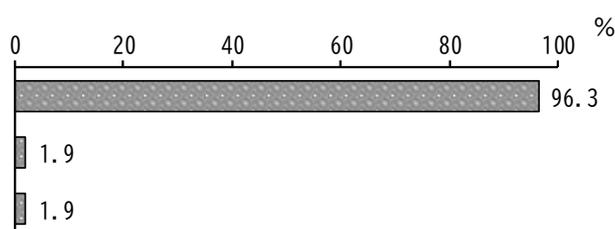
問7 特定医療費（指定難病）受給者証をお持ちですか。（○は一つ）

回答者数 = 160

持っていない

持っている

無回答



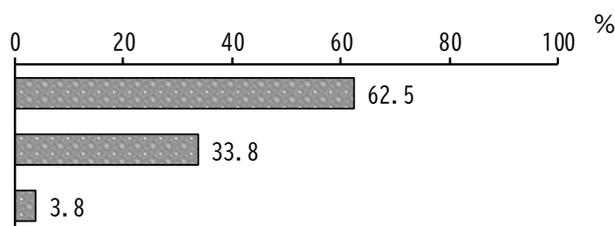
問8 お子様は発達障害※として診断されたことがありますか。（○は一つ）

回答者数 = 160

ある

ない

無回答

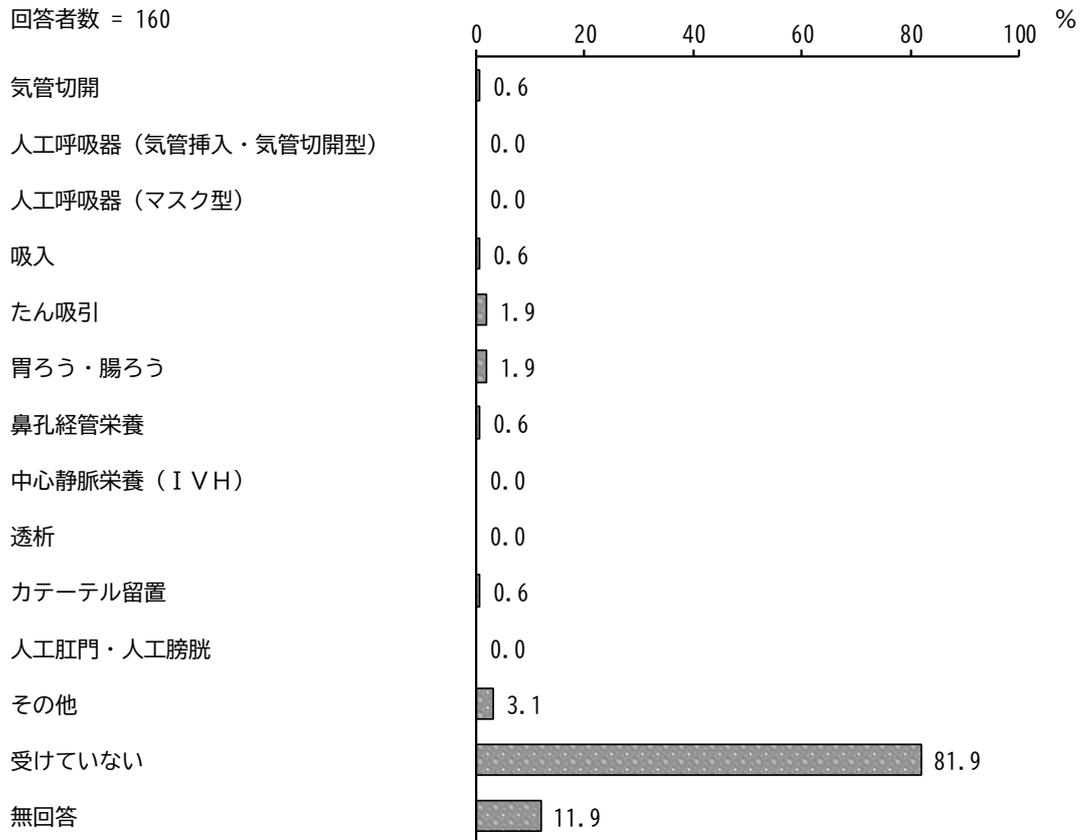


【障害の種類別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全体	160	62.5	33.8	3.8
身体障害のある人	33	27.3	69.7	3.0
知的障害のある人	116	66.4	29.3	4.3
精神障害のある人	9	88.9	—	11.1
難病患者	3	33.3	66.7	—
発達障害のある人	100	100.0	—	—

問9 お子様が現在受けている医療的ケアをお答えください。(〇はいくつでも)



◇主なその他意見

- ・ ITB
- ・ ペースメーカー
- ・ てんかん
- ・ 投薬 など

(2) お子様の日中の活動について

問 10 お子様は、日常生活で、介助が必要なことはありますか。当てはまる欄に○をつけてください。(○は①から⑤までのそれぞれに一つ)

『④外出』で介助が必要な割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
①食事	160	66.9	21.3	9.4	2.5
②トイレ	160	55.0	26.9	15.6	2.5
③入浴	160	41.9	36.9	18.8	2.5
④外出	160	29.4	38.8	29.4	2.5
⑤家族以外の人との会話	160	40.6	34.4	22.5	2.5

問 11 お子様はどこに通学・通園をしていますか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 160

児童発達支援施設（通所受給者証に「児童発達支援」と記載されているもの。サルビア学園等）

保育園・幼稚園・認定こども園

小学校・小学部

中学校・中学部

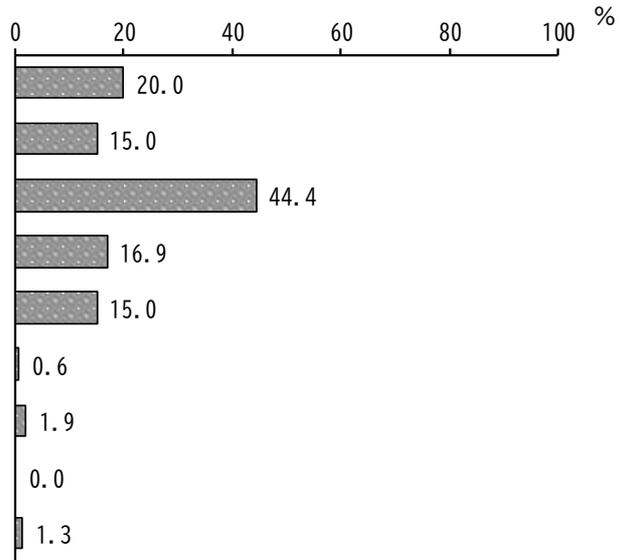
高等学校・高等部等

働いている

家の中で過ごしている

その他

無回答



【障害の種類別】

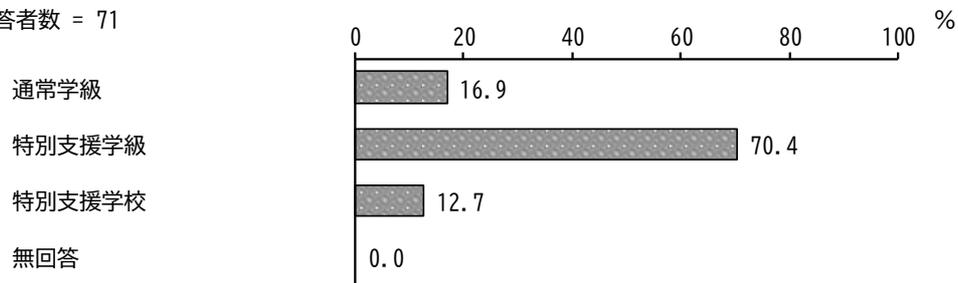
単位：%

区分	回答者数 (件)	児童発達支援施設（通所受給者証に「児童発達支援」と記載されているもの。サルビア学園等）	保育園・幼稚園・認定こども園	小学校・小学部	中学校・中学部	高等学校・高等部等	働いている	家の中で過ごしている	その他	無回答
全体	160	20.0	15.0	44.4	16.9	15.0	0.6	1.9	—	1.3
身体障害のある人	33	21.2	6.1	48.5	12.1	18.2	3.0	3.0	—	—
知的障害のある人	116	19.0	12.9	41.4	21.6	19.0	—	1.7	—	0.9
精神障害のある人	9	11.1	—	55.6	22.2	22.2	—	—	—	—
難病患者	3	33.3	—	66.7	—	—	—	—	—	—
発達障害のある人	100	22.0	15.0	47.0	18.0	16.0	—	—	—	—

問11 お子様はどこに通学・通園をしていますか。(〇はいくつでも)

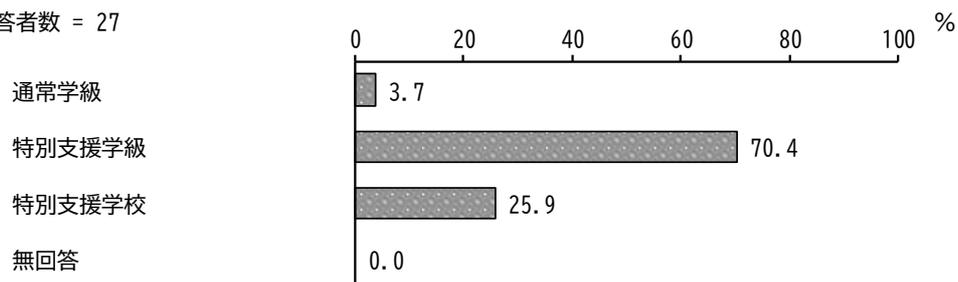
小学校・小学部

回答者数 = 71



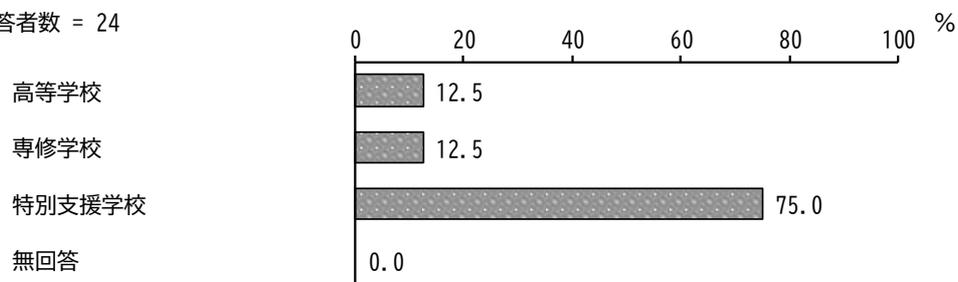
中学校・中学部

回答者数 = 27



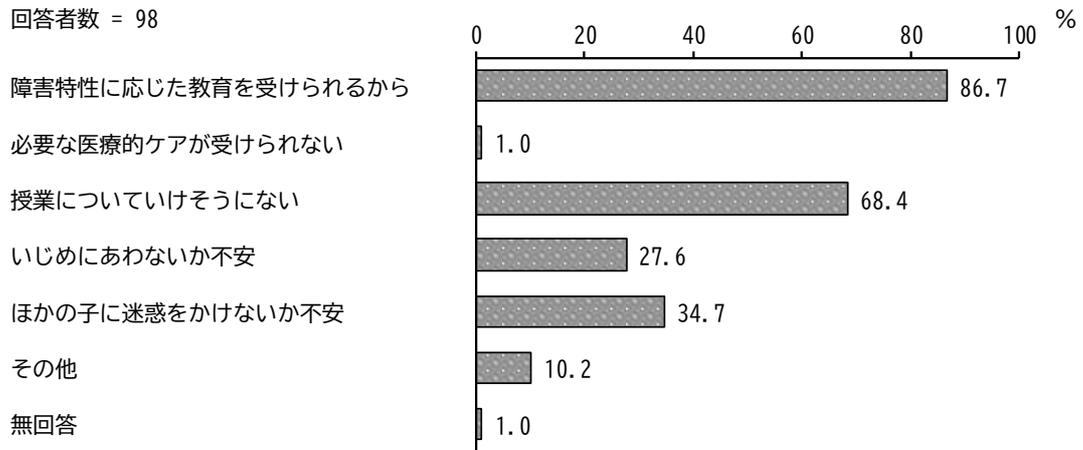
高等学校・高等部等

回答者数 = 24



問 11-1 お子様が通常学級等に通っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

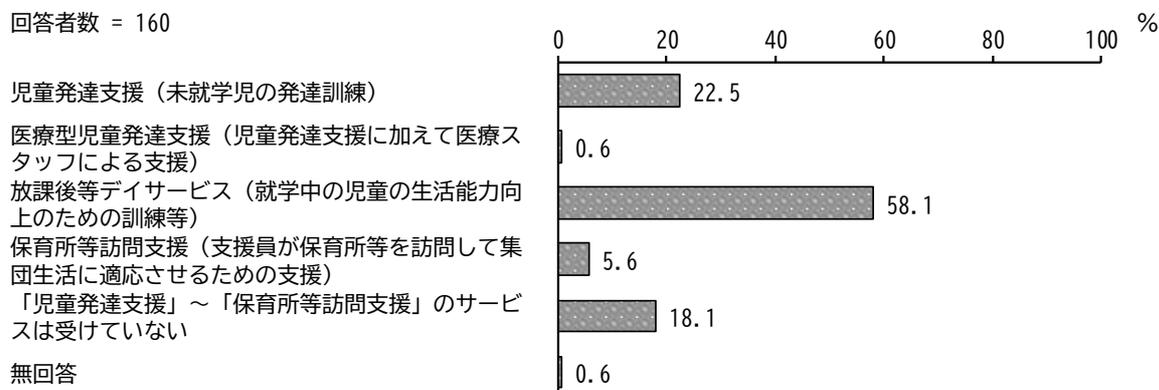
回答者数 = 98



(3) 障害福祉サービスなどについて

問 12 お子様は次のサービスを受けていますか。(〇はいくつでも。通所受給者証で確認できます。)

回答者数 = 160



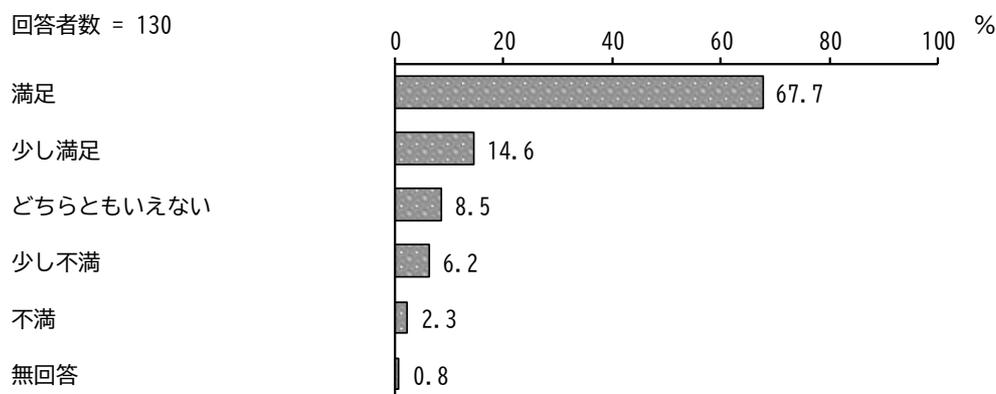
【障害の種類別】

単位：%

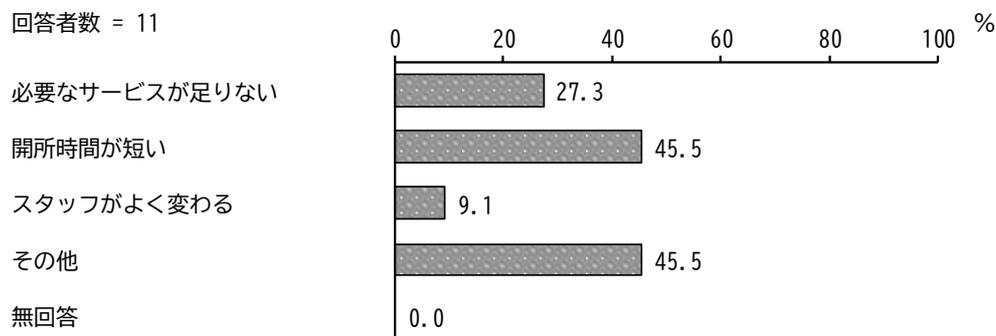
区分	回答者数 (件)	児童発達支援 (未就学児の発達訓練)	医療型児童発達支援 (児童発達支援に加えて医療スタッフによる支援)	放課後等デイサービス (就学中の児童の生活能力向上のための訓練等)	保育所等訪問支援 (支援員が保育所等を訪問して集団生活に適應させるための支援)	「児童発達支援」～「保育所等訪問支援」のサービスは受けていない	無回答
全 体	160	22.5	0.6	58.1	5.6	18.1	0.6
身体障害のある人	33	18.2	—	54.5	—	27.3	—
知的障害のある人	116	20.7	0.9	62.9	4.3	15.5	0.9
精神障害のある人	9	—	—	66.7	—	33.3	—
難病患者	3	33.3	—	66.7	—	—	—
発達障害のある人	100	22.0	1.0	61.0	8.0	16.0	—

問 12-1 そのサービスにどれくらい満足していますか。(〇は一つ)

「満足」と「少し満足」を合わせた“満足”の割合が 82.3%、「少し不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が 8.5%となっています。



問 12-2 そのサービスに不満な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

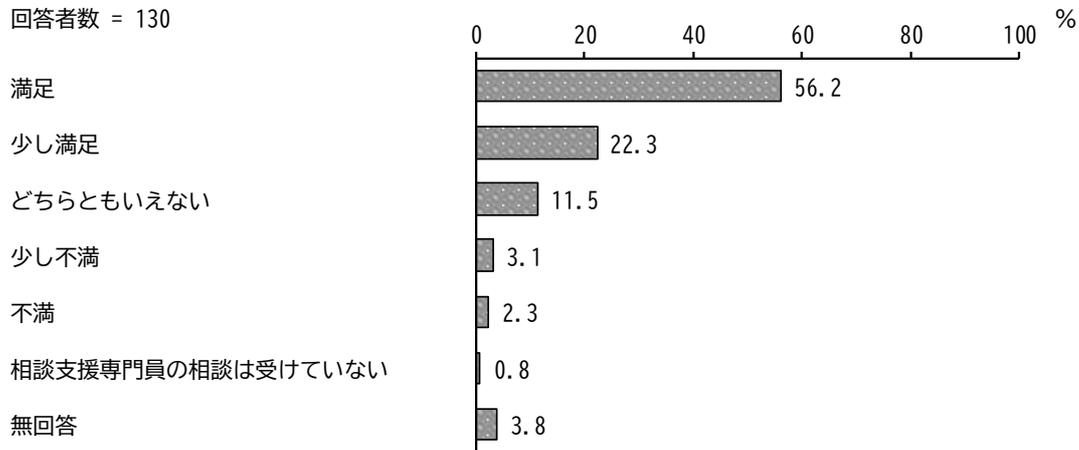


◇主なその他意見

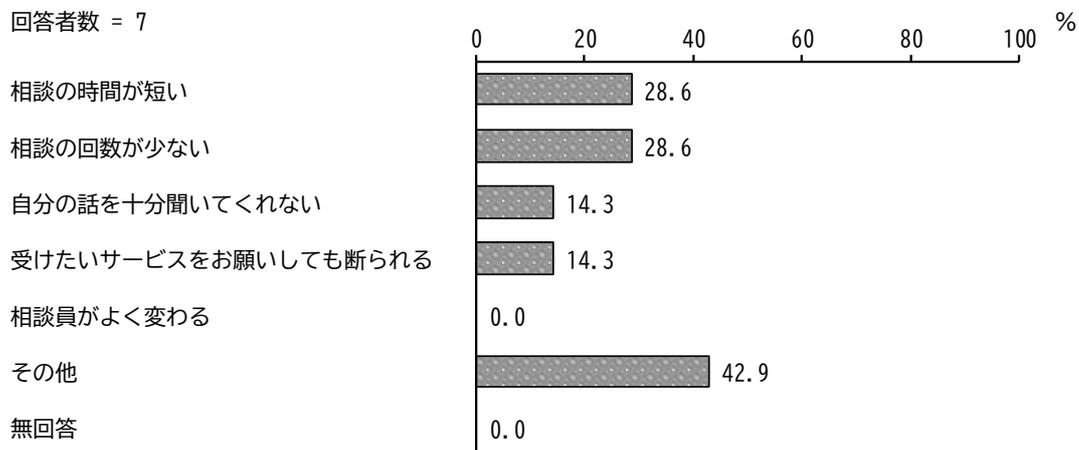
- ・送迎がない
- ・言語訓練が以前あったが、今は人手不足でなくなってしまった
- ・夏休みなどの長期休みの時は児童クラブとの併用が必要なため など

問 12-3 障害児支援利用計画書を作るために相談支援専門員に相談してもらっていますが、その相談にどれくらい満足していますか。(〇は一つ)

「満足」と「少し満足」を合わせた“満足”の割合が78.5%、「少し不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が5.4%となっています。



問 12-4 その相談に不満な理由は何ですか。(〇はいくつでも)



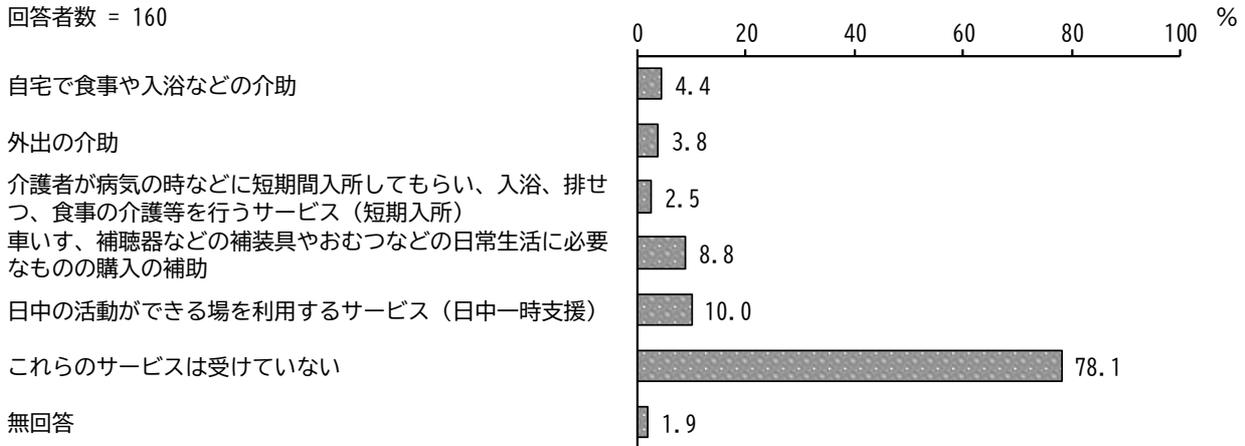
◇主なその他意見

- ・複数利用しており事業所によって相談員のレベルが違う
- ・相談員となかなか連絡がつかず話ができない
- ・相談員さんが受け身すぎるのでもう少しアドバイスなど積極性がほしい
- ・制度や情報を教えてほしい など

問13 お子様は次のサービスを受けていますか。(〇はいくつでも)

大半の保護者が「お子様の卒業後の暮らし・就職」について不安を感じています。

回答者数 = 160



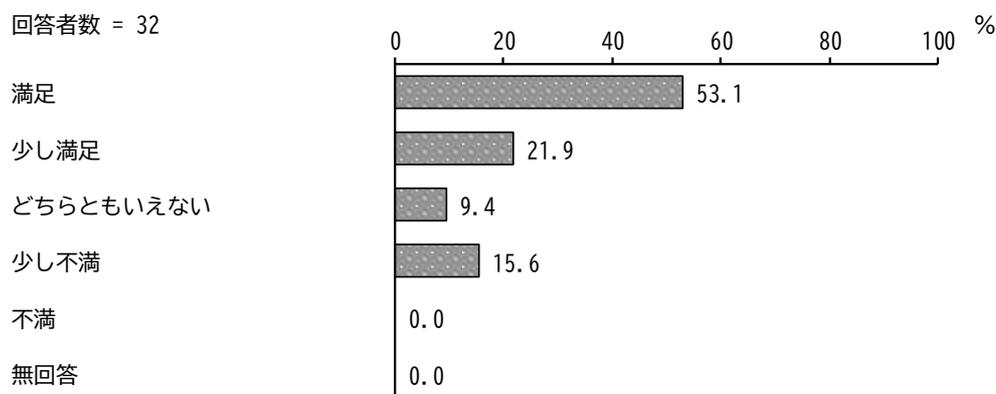
【障害の種類別】

単位：%

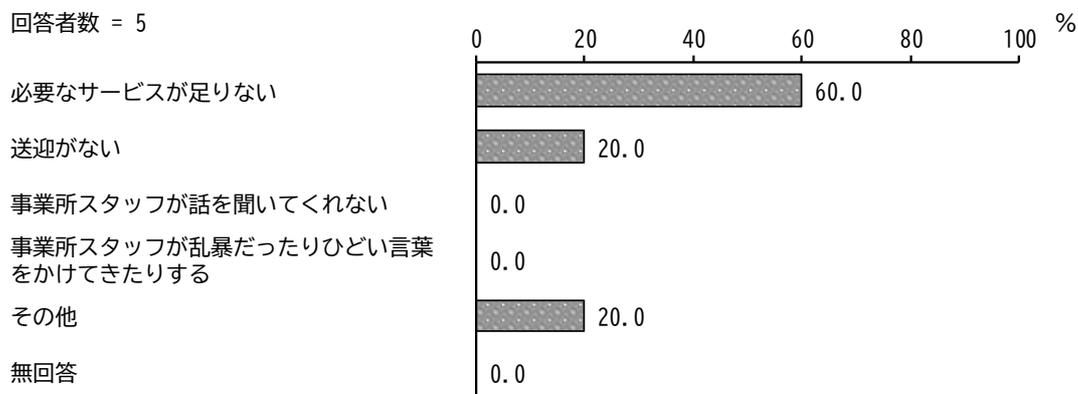
区分	回答者数 (件)	自宅で食事や入浴などの介助	外出の介助	介護者が病気の時などに短期間入所してもらい、入浴、排せつ、食事の介護等を行うサービス (短期入所)	車いす、補聴器などの補装具やおむつなどの日常生活に必要なものの購入の補助	日中の活動ができる場を利用するサービス (日中一時支援)	これらのサービスは受けていない	無回答
全体	160	4.4	3.8	2.5	8.8	10.0	78.1	1.9
身体障害のある人	33	18.2	12.1	9.1	42.4	12.1	42.4	3.0
知的障害のある人	116	6.0	5.2	3.4	8.6	12.1	75.0	2.6
精神障害のある人	9	—	—	—	—	—	88.9	11.1
難病患者	3	—	—	—	66.7	—	33.3	—
発達障害のある人	100	3.0	3.0	2.0	3.0	12.0	81.0	2.0

問 13-1 そのサービスにどれくらい満足していますか。(○は一つ)

「満足」と「少し満足」を合わせた“満足”の割合が 75.0%、「少し不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が 15.6%となっています。



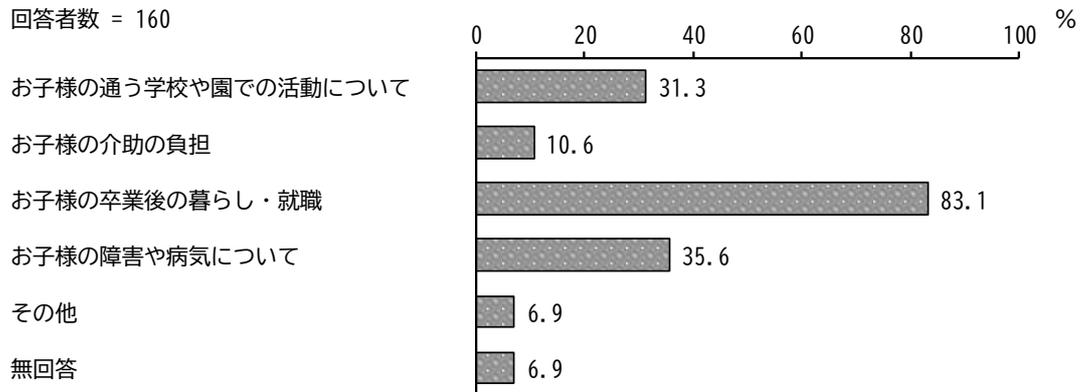
問 13-2 そのサービスに不満な理由は何ですか。(○はいくつでも)



◇主なその他意見

- ・入浴回数が少ない
- ・おむつの日常生活用具の金額が足りない
- ・尿パッドが支給対象外になっている
- ・購入出来る期間が長いイヤーマナレドがすぐに小さくなる為 など

問 14 現在不安なことや困っていることはありませんか。(〇はいくつでも)



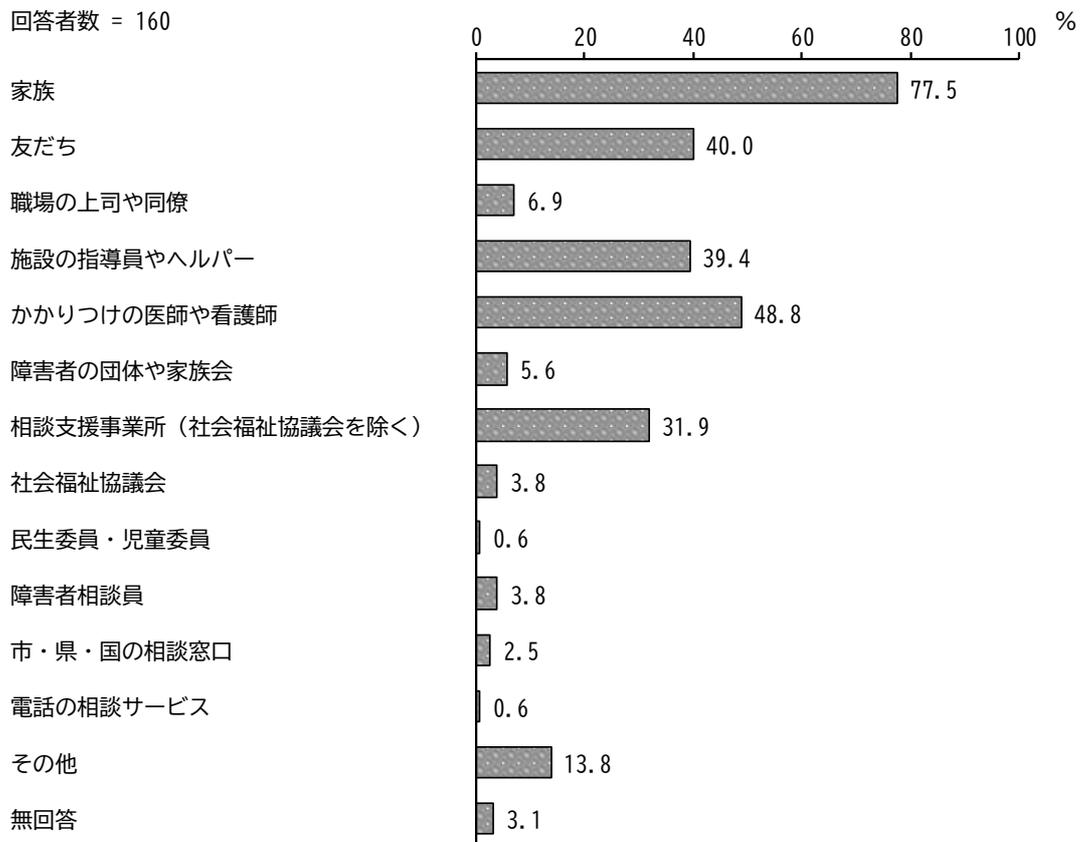
【障害の種類別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	お子様の通う学校や園での活動について	お子様の介助の負担	お子様の卒業後の暮らし・就職	お子様の障害や病気について	その他	無回答
全 体	160	31.3	10.6	83.1	35.6	6.9	6.9
身体障害のある人	33	27.3	24.2	69.7	18.2	3.0	15.2
知的障害のある人	116	29.3	13.8	87.9	34.5	7.8	4.3
精神障害のある人	9	22.2	—	100.0	33.3	11.1	—
難病患者	3	66.7	66.7	100.0	66.7	—	—
発達障害のある人	100	33.0	11.0	90.0	37.0	9.0	1.0

問15 お子様についての悩みや困りごとがあったらだれ（どこ）に相談しますか。（〇はいくつでも）

回答者数 = 160



【障害の種類別】

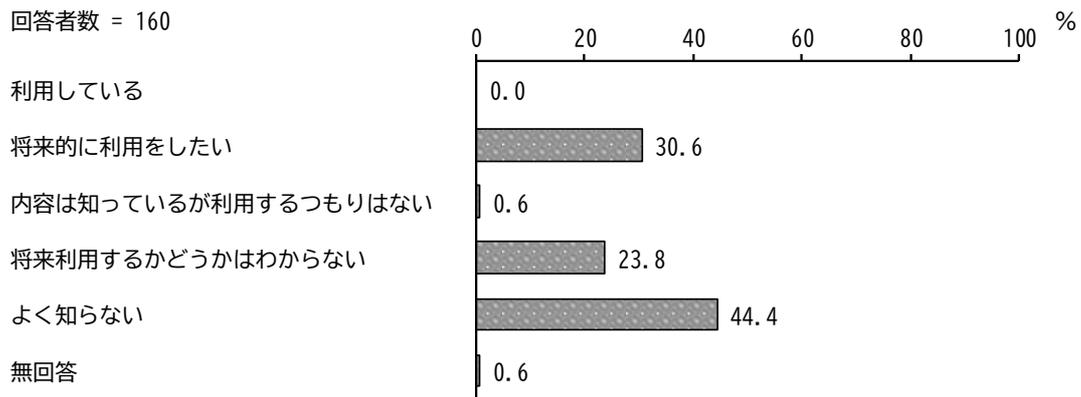
単位：％

区分	回答者数(件)	家族	友だち	職場の上司や同僚	施設の指導員やヘルパー	かかりつけの医師や看護師	障害者の団体や家族会	相談支援事業所(社会福祉協議会を除く)
全体	160	77.5	40.0	6.9	39.4	48.8	5.6	31.9
身体障害のある人	33	75.8	45.5	6.1	45.5	54.5	12.1	30.3
知的障害のある人	116	76.7	42.2	6.9	42.2	47.4	6.9	32.8
精神障害のある人	9	66.7	33.3	11.1	33.3	77.8	11.1	44.4
難病患者	3	100.0	33.3	33.3	66.7	100.0	66.7	33.3
発達障害のある人	100	76.0	39.0	8.0	41.0	53.0	4.0	34.0

区分	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	障害者相談員	市・県・国の相談窓口	電話の相談サービス	その他	無回答
全体	3.8	0.6	3.8	2.5	0.6	13.8	3.1
身体障害のある人	12.1	3.0	6.1	3.0	—	15.2	3.0
知的障害のある人	5.2	0.9	4.3	2.6	—	14.7	3.4
精神障害のある人	—	—	—	—	11.1	—	—
難病患者	—	—	—	—	—	33.3	—
発達障害のある人	3.0	1.0	3.0	4.0	—	15.0	3.0

問 16 成年後見制度※についてどのように思いますか。(○は一つ)

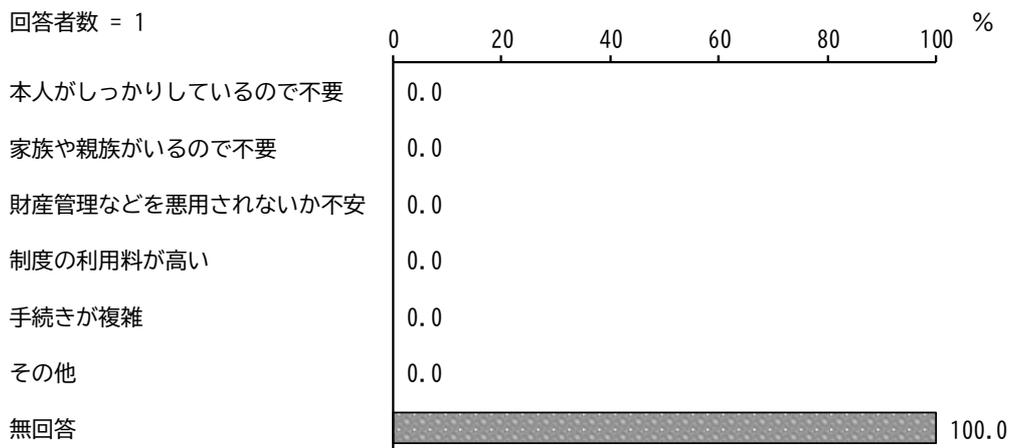
回答者数 = 160



問 16-1 利用するつもりがないのはなぜですか。(○はいくつでも)

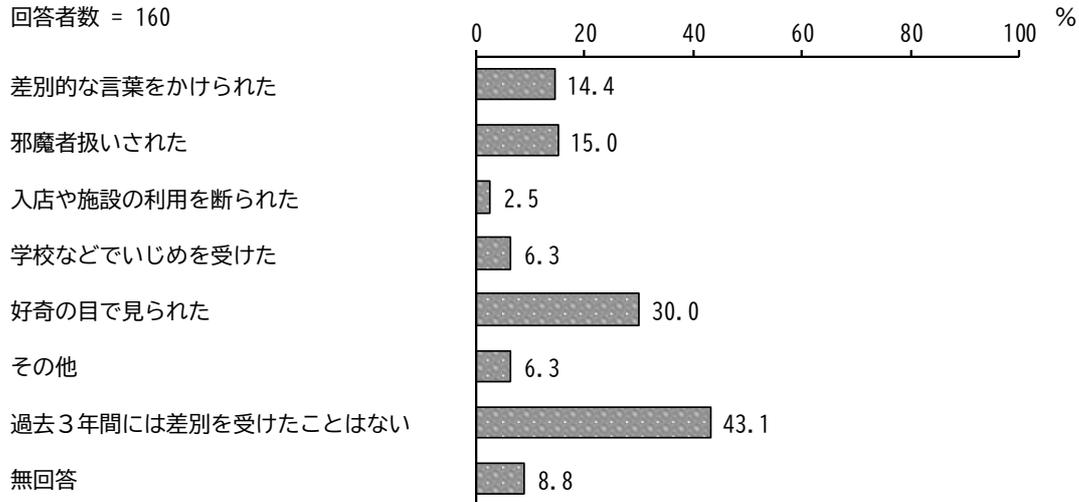
有効回答がありませんでした。

回答者数 = 1



問 17 お子様は過去3年ぐらいのうちに、障害があることで差別を受けたことがありますか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 160



【障害の種類別】

単位：%

区分	回答者数(件)	差別的な言葉をかけられた	邪魔者扱いされた	入店や施設の利用を断られた	学校などでいじめを受けた	好奇の目で見られた	その他	過去3年間には差別を受けたことはない	無回答
全 体	160	14.4	15.0	2.5	6.3	30.0	6.3	43.1	8.8
身体障害のある人	33	12.1	9.1	6.1	—	30.3	—	45.5	12.1
知的障害のある人	116	13.8	14.7	2.6	6.0	30.2	6.0	44.0	8.6
精神障害のある人	9	33.3	44.4	—	22.2	22.2	—	44.4	—
難病患者	3	—	33.3	—	—	33.3	—	33.3	33.3
発達障害のある人	100	15.0	15.0	1.0	6.0	29.0	9.0	44.0	9.0

(4) 自由意見

問 18 最後に、障害児福祉へのご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

◇主な意見

- ・高校生までは、放課後デイなど充実したサービスを受ける事ができ感謝しています。ただその後がない為、不安を感じる。将来に向けて、自立する為の訓練の場が欲しい。短期入所なども、限られている為、利用したくてもできない。親から離れ、生活するという事を練習し経験をかさねて、自立に向け自信をつけるような場所、サービスを望んでいます。
- ・学校に通学するのにあたり、毎日の送迎が必須となり、仕事を継続するのが難しくなっています。障害のある子の親でも、社会へ出たい、将来の生活資金を貯めたい、普通の事が介護等の時間の制約でできないのが現状です。どうか、そういった事にも、福祉サービスが利用できるようにして頂きたいです。
- ・1歳半健診等以外に、親から行動しなければ子どもの発達支援に参加できない、健診等で資料配布してほしい。
- ・発達障害があるため、ない子に比べたら介助量も多い、来年サルビア学園へ入園する予定だが、リハビリ通院もしており仕事をセーブしなくてはならない。仕事がしたくてもできない現状、もう少し補助額を増やしてほしい。
- ・将来をなかなか想像できなくて不安。安城市でどういう取り組みをしているのかをしりたい。
- ・安城市は手厚いので助かっています。息子は手帳がほしいですがもらえない状況です。他市では手帳がないと支援級にいけないところもあるようです。グレーゾーンの子も福祉サービスを受け続けられるようお願いします。
- ・仕事・住まい・サービスなど、中度～軽度障害の人は今どんな暮らし・仕事・サービスを受けているのか、当人や施設の人の話を聞きたい。セミナー等をやって下さるとうれしい。今から色々準備していきたいので、よろしくお願い致します。
- ・兄弟児に対してのケアがいきとどいてない気がします。自分自身も兄弟児だったので、昔とあまり変わらない現実にモヤモヤしています。障害児に福祉が十分にいきとどいていればヤングケアラーも減るかもしれません。
- ・我が子は支援級から支援学校高等部に進むことができましたが、支援級で9年過ごした子が、望んでも支援学校に入学できないケースが多くあることに不満を感じます。ボーダー児へのケアも重視してほしいです。
- ・児童発達支援所の通学者が多くなかなか枠がとれない。その結果市外に通ったりしている。
- ・難しいとは思いますが、職員1人1人に適切な知識が必要だと感じています。

Ⅲ 調査結果のまとめ

1 障害者調査

(1) 日中の活動

○現在の暮らし方について、「家族や親せきと暮らしている」の割合が76.1%と最も高くなっています。

知的障害の人では、「グループホームで暮らしている」の割合が10.3%、精神障害の人では、「病院に入院している」の割合が3.2%となっています。

○日常生活の状況について、『外出』『お金の管理』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

特に、知的障害の人で、『外出』において「全部介助が必要」の割合が3割、『お金の管理』において「全部介助が必要」の割合が4割半ばとなっています。

○外出の時に困ることについて、知的障害の人、精神障害の人で「困ったときにどうすればよいか不安」の割合が最も高く、3割を超えています。

○就労状況について、「働いていない」の割合が45.0%と最も高くなっています。特に、精神障害の人で「働いていない」の割合が5割半ばと他の障害に比べて高くなっています。また、知的障害の人で「福祉作業所（A型・B型）で働いている」の割合が2割となっています。

○働いていない理由は、「障害や病気のため」の割合が68.3%と最も高く、次いで「家事をしている」の割合が22.1%、「働きやすいところが見つからない」の割合が16.2%となっています。

精神障害の人で、「働きたいが雇用されない」「働きやすいところが見つからない」の割合が他の障害に比べて高くなっています。

(2) 福祉サービス

○利用している障害福祉サービスは、「福祉作業所で働く場の提供」が9.4%と最も高くなっています。知的障害の人で「外出の介助」「福祉作業所で働く場の提供」の割合が2割以上と他の障害に比べて障害福祉サービスを利用している割合が全体的に高くなっています。また、精神障害の人で、「働くための訓練・相談・指導のサービス」の割合が1割半ばと他の障害に比べて高くなっています。

○利用しているサービスの満足度は、「満足」と「少し満足」を合わせた“満足”の割合が61.8%となっています。

○相談支援専門員への相談の満足度は、「満足」と「少し満足」を合わせた“満足”の割合が66.8%となっています。

○サービスを受けていない理由は、「サービスの利用方法が分からない」の割合が11.1%となっています。特に精神障害の人で「サービスの利用方法が分からない」の割合が2割弱と他の障害に比べて高くなっています。

○悩みや困りごとがあったらときに相談したい場所は、家族以外では知的障害の人で「施設の指導員やヘルパー」「相談支援事業所（社会福祉協議会を除く）」、精神障害の人で「かかりつけの医師や看護師」の割合が高くなっています。

○成年後見制度については、「利用している」の割合が 2.2%、「将来的に利用をしたい」の割合が 8.6%となっています。知的障害の人では、「将来的に利用をしたい」の割合が 2割と他の障害に比べて高くなっています。

(3) 障害を理由とする差別の解消

○障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）は、「知っている」の割合が 19.0%、「知らない」の割合が 76.2%となっています。

○過去3年で障害があることによる差別の経験は、「好奇の目で見られた」の割合が 15.9%、「差別的な言葉をかけられた」の割合が 11.7%となっています。知的障害の人で「好奇の目で見られた」の割合が 2割半ば、精神障害の人で「差別的な言葉をかけられた」の割合が約 2割と他の障害に比べて高くなっています。

2 障害児調査

(1) 日中の活動

○通学・通園先は、「児童発達支援施設」の割合が 20.0%となっています。

○小学校・小学部の「特別支援学級」の割合が 70.4%、「特別支援学校」の割合が 12.7%となっています。

○中学校・中学部の「特別支援学級」の割合が 70.4%、「特別支援学校」の割合が 25.9%となっています。

○通常学級等に通っていない理由は、「障害特性に応じた教育を受けられるから」の割合が 86.7%と最も高く、次いで「授業についていけそうにない」の割合が 68.4%、「ほかの子に迷惑をかけないか不安」の割合が 34.7%となっています。

(2) 福祉サービス

○利用している障害福祉サービスは、「放課後等デイサービス」の割合が 58.1%と最も高くなっています。

○利用しているサービスの満足度は、「満足」と「少し満足」を合わせた“満足”の割合が 82.3%となっています。

○相談支援専門員への相談の満足度は、「満足」と「少し満足」を合わせた“満足”の割合が 78.5%となっています。

○いずれも障害者調査と比べて満足している割合が高くなっています。

○障害福祉サービス以外のサービスの利用は、日中の活動ができる場を利用するサービス（日中一時支援）」の割合が 10.0%と利用が一番多くなっています。

○現在不安なことや困っていることは、「お子様の卒業後の暮らし・就職」の割合が 83.1%と突出して高くなっています。

○子どもについての悩みや困りごとの相談先は、家族以外では「かかりつけの医師や看護師」「友だち」の割合が高くなっています。

(3) 障害を理由とする差別の解消

○過去3年で障害があることによる差別の経験は、「好奇の目で見られた」の割合が30.0%、「邪魔者扱いされた」の割合が15.0%となっています。障害者調査と比べて「好奇の目で見られた」の割合が高くなっています。